

ひょうごらくのうメモ

平成27年11月号

おいしいね 兵庫の牛乳 もう一本！



挿絵提供 題名 “牛” 久木田 ゆう 6才 (滋賀県)
目次 (第32回らくのうひょうごフェスティバル応募作品)

1	生乳動向 (累計)
2	行事メモ 27年10月、11月
3	計画生産推進一覧表《27年度10月》
4	用途別販売成績《27年度10月》
5	生乳検査実績速報《27年度10月》
6	淡路家畜市場情報《27年度10月》
7	隣県家畜市場情報《27年度10月》
8	北海道産牛価格情勢《27年度10月》
9	北海道乳牛産地情報《27年度10月》
10	牛群成績平均情報《27年度10月》
11	乳用牛改良情報《27年度10月》
12	輸入粗飼料の情勢《27年度10月》
13	TPPに関する緊急要請
14	平成28年度予算概算要求における酪農予算要求確保と今後の酪農政策に関する要請
15	特集 粗飼料を上手に給与する
16	平成27年度畜産経営講座—畜産経営の法人化について—

発行:兵庫県酪農農業協同組合連合会

酪農メモ

平成27年11月
兵庫県酪連

報告

1. 生乳生産量の動き（全国）・・・（平成27年9月・牛乳乳製品統計）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成27年 4月	625.0	99.7
平成27年 5月	649.0	99.8
平成27年 6月	624.7	100.9
平成27年 7月	628.7	101.8
平成27年 8月	608.5	101.4
平成27年 9月	592.9	101.6
平成27年10月		
平成27年11月		
平成27年12月		
平成28年 1月		
平成28年 2月		
平成28年 3月		
平成27年度累計	3,728.7	100.9

2. 生乳計画生産推進の状況（兵庫県酪連扱い分・公共施設を除く） （平成27年8月・前年より320.3減、・受託9団体中5団体が前年より増加）

	計画生産対象数量（kg）	対前年比（%）	対前々年比（%）	戸数（戸）
平成27年度累計	87,282,708	94.4	89.8	
平成27年 4月	7,579,585	95.4	90.2	327
平成27年 5月	7,641,564	93.5	89.2	324
平成27年 6月	7,082,231	95.1	89.1	321
平成27年 7月	7,003,371	99.0	91.9	321
平成27年 8月	6,711,744	98.1	93.4	320
平成27年 9月	6,579,859	98.4	90.0	320
平成27年10月	6,751,790	95.5	91.0	319
平成27年11月				
平成27年12月				
平成28年 1月				
平成28年 2月				
平成28年 3月				
平成27年度累計	42,598,354	96.3	90.6	

3. 行事メモ <平成27年10月、11月>

10月

◆23日 全日本ホルスタイン共進会（26日まで）

北海道勇払郡安平町 北海道ホルスタイン共進会上にて、第14回全日本ホルスタイン共進会が開催され、兵庫県より出品された10頭は以下のとおりの結果となった。

出品部	順位	登録番号	名号	生年月日	出品者氏名
第1部	1等賞4隻	14547-8857-5	レモンテールヘジータアデイクス	14.09.01	淡路島酪農農業協同組合
第2部	1等賞5席	14547-8848-3	ラツキテールアイオンコスモス	14.07.07	淡路島酪農農業協同組合
第5部	1等賞6席	13366-4315-2	ハリマクイーンパールエリザベス	13.12.02	兵庫県立播磨農業高等学校
第5部	1等賞7席	14053-0090-0	アリストエイトマーチ	14.01.23	山田 光雄
第5部	2等賞9席	13769-9628-7	ゲットリバープリンセスミミスーパーホワイト	14.01.01	吉川 稔英
第7部	1等賞6席	13769-9622-5	ゲットリバートリプルAコナツ	13.07.21	吉川 稔英
第7部	2等賞16席	13446-6973-1	ヘルベツトウルクロセット	13.09.06	山本 仁士
第8部	2等賞6席	13534-6956-8	リファームジエツクインクレディブル	13.02.06	山本 仁士
第13部	1等賞3席	12591-3088-3	OFJロクシーリターナ	10.08.12	OFJ シンジケート
第13部	2等賞6席	12550-1288-6	ニコヌプリハツカイコハク	09.12.20	赤松 清助

11月

◆ 2日 理事会

1. 報告事項

- 1) 平成27年度計画生産進捗状況について
- 2) 兵庫県酪農農業協同組合設立に向けた取組みについて
- 3) 第14回全国ホルスタイン共進会の結果について
- 4) 近畿生乳販連について
- 5) 今後の生乳取引のあり方について
- 6) 生乳流通体制の合理化の総合的な推進について
- 7) TPP農林水産物市場アクセス交渉結果について
- 8) 兵庫県酪農ヘルパー利用組合設立に向けた取組みについて

2. 協議事項

- 1) 生乳賠償責任補償保険の加入について
- 2) 第33回兵庫県酪農祭収支予算計画について

なお、生乳賠償責任補償保険は、12月からの1年間の保険に加入することとなった。

◆ 4日 第11回兵庫県酪農農業協同組合設立発起人会

兵庫県酪農農業協同組合の創立総会の開催日時、場所、議案等が協議決定

された。

開催日時 平成 27 年 12 月 9 日 (水) 13 : 30 ~
開催場所 西神文化センター4 階大ホール
議 案 定款の承認について 等

◆ 6 日 自民党 T P P 地方キャラバン

自民党農林部会は T P P の大筋合意を受け、直接農業生産者からの意見を聞き 17 日にまとめる党の総合対策に反映したいとし、小泉進次郎農林部会長を始めとする自民党議員と兵庫県下の畜産農家 6 名等との意見交換会が行われた。

酪農家の代表として本会塩見会長が出席し、兵庫県酪農の厳しい現状とその対策等の要請を小泉部会長に直接行われた。その主なものは以下の通りです。

- 飼料の高騰や都市近郊の環境問題も加わり、経営継続していくのが大変苦しい現況にある。
- W C S など国産粗飼料を使用し生産コストの低減に努力しているが、乳脂肪率の取引基準の 3.5% をクリアするには使用限度もある。取引基準の見直しについて国として指導してもらいたい。
- 畜産クラスターに対する支援事業が充実されると聞いているが、機械 1 台あれば作業ができるのではなく何台かの機械のセットで作業はできる、また、それを保管する施設も必要となってくる。セットでの助成を検討してもらいたい。
- T P P の影響で牛肉の価格が下がれば、酪農の副産物である雄子牛の価格も下がる。何等かの手立てをしてもらいたい。
- ヘルパー事業は家族経営にとってはなくてはならないものだ。支援の充実をお願いしたい。



◆ 10日 モーモースクール (宝塚)

宝塚市立安倉小学校にて3クラス(91名)の生徒を対象にしたふれあい酪農体験授業を開催した。体育館にてファームファシリテーター西山農氏による牛の模型等を使った酪農のお話し、(一社)日本乳業協会関西相談室の入口由美氏による牛乳のお話しとバター作り体験を実施。その後、運動場にて、模擬搾乳機を使った搾乳体験、子牛への哺乳体験及び心音体験、成牛への餌やり体験を実施した。



4. 行事予定<平成27年11月、12月>

- 11月19日 第50回酪農公開講座
- 11月21日 第33回ひょうごらくのうフェスティバル
平成27年度兵庫県乳牛共進会
- 12月 9日 新組合創立総会

11月精液配布コース予定日

4日 西播コース 10日 東播コース 17日 丹波コース 18日 淡路コース
24日 但馬コース

12月精液配布コース予定日

8日 西播コース 15日 東播コース 16日 淡路コース 22日 丹波コース

平成27年度10月分計画生産推進一覽表

(単位:kg, %)									
委託団体名	10月分 生乳生産乳量	前年対比	今年度累計	前年対比	月別	総受託乳量	前年対比	10月分 生乳生産乳量	前年対比
兵庫六甲農業協同組合	1,465,890.0	100.7	10,669,900.0	101.7	4月	7,579,585.0	95.4	1,465,890.0	95.4
みのり農業協同組合	389,700.0	95.1	2,882,540.0	98.9	5月	7,641,564.0	93.5	389,700.0	93.5
東播磨農業協同組合	1,688,885.0	91.8	12,065,358.0	91.8	6月	7,082,231.0	95.1	1,688,885.0	95.1
西播磨農業協同組合	545,751.0	100.0	3,998,071.0	104.9	第1四半期	22,303,380.0	94.6	545,751.0	94.6
たじま農業協同組合	40,520.0	88.7	304,650.0	83.7	7月	7,003,371.0	99.0	40,520.0	99.0
北但路農業協同組合	200,577.0	112.0	1,407,724.0	104.8	8月	6,711,744.0	98.1	200,577.0	98.1
兵庫丹波路農業協同組合	438,276.0	104.0	3,121,852.0	103.3	9月	6,579,859.0	98.4	438,276.0	98.4
淡路日の出農業協同組合	398,200.0	116.6	2,890,680.0	121.7	第2四半期	20,294,974.0	98.5	398,200.0	98.5
淡路島極農業協同組合	1,602,991.0	86.5	12,019,369.0	87.2	10月	6,751,790.0	95.5	1,602,991.0	95.5
					11月		0.0		0.0
					12月		0.0		0.0
					第3四半期	6,751,790.0			
					1月		0.0		0.0
					2月		0.0		0.0
					3月		0.0		0.0
					第4四半期	0.0	0.0		0.0
合計	6,751,790.0	95.5	49,350,144.0	96.3	合計	49,350,144.0		6,751,790.0	

公共施設区分				
委託団体名	10月分 生乳生産乳量	今年度 累計	10月分 総乳量	今年度 総乳量
兵庫六甲農協			1,465,890.0	10,669,900.0
みのり農協			389,700.0	2,882,540.0
東播磨農協	20,005.0	152,862.0	1,708,890.0	12,218,220.0
西播磨農協	1,670.0	13,365.0	548,421.0	4,001,436.0
たじま農協			40,520.0	304,650.0
北但路農協			200,577.0	1,407,724.0
兵庫丹波路農協			438,276.0	3,121,852.0
日の出農協			398,200.0	2,890,680.0
淡路島極農協	20,390.0	161,591.0	1,623,381.0	12,180,960.0
合計	42,065.0	327,818.0	6,793,855.0	49,677,962.0

公共施設区分				
委託団体名	10月分 生乳生産乳量	今年度 累計	10月分 総乳量	今年度 総乳量
兵庫六甲農協			1,465,890.0	10,669,900.0
みのり農協			389,700.0	2,882,540.0
東播磨農協	20,005.0	152,862.0	1,708,890.0	12,218,220.0
西播磨農協	1,670.0	13,365.0	548,421.0	4,001,436.0
たじま農協			40,520.0	304,650.0
北但路農協			200,577.0	1,407,724.0
兵庫丹波路農協			438,276.0	3,121,852.0
日の出農協			398,200.0	2,890,680.0
淡路島極農協	20,390.0	161,591.0	1,623,381.0	12,180,960.0
合計	42,065.0	327,818.0	6,793,855.0	49,677,962.0

公共施設区分				
委託団体名	10月分 生乳生産乳量	今年度 累計	10月分 総乳量	今年度 総乳量
兵庫六甲農協			1,465,890.0	10,669,900.0
みのり農協			389,700.0	2,882,540.0
東播磨農協	20,005.0	152,862.0	1,708,890.0	12,218,220.0
西播磨農協	1,670.0	13,365.0	548,421.0	4,001,436.0
たじま農協			40,520.0	304,650.0
北但路農協			200,577.0	1,407,724.0
兵庫丹波路農協			438,276.0	3,121,852.0
日の出農協			398,200.0	2,890,680.0
淡路島極農協	20,390.0	161,591.0	1,623,381.0	12,180,960.0
合計	42,065.0	327,818.0	6,793,855.0	49,677,962.0

*戸数参考:「個人別用紙報告に係る産業者等報告書」

公共施設区分

委託団体名

4月1日

増減数

農家戸数

H27.10.1

前年対比

平成27年度10月用途別販売実績（速報）

平成27年11月16日
一般社団法人 中央酪農会議

1) 総受託乳量

2) 販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	10月		4-10月累計		指定団体	10月		4-10月累計						
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %					
北海道	313,063	102.2 (102.7)	2,230,453	101.6 (102.0)	北海道	313,063	102.2	2,230,453	101.6					
青森	5,176	98.1	36,608	94.7	/	/	/	/	/					
岩手	16,578	100.3	118,735	99.9										
宮城	9,761	100.4	69,393	99.9										
秋田	2,224	96.0	16,030	97.9										
山形	5,206	99.0	38,898	100.7										
福島	5,496	94.7	40,403	96.8										
東北生乳販連	44,440	99.0 (99.3)	320,068	98.9 (99.1)						東北生乳販連	44,439	99.0	320,060	98.9
茨城	12,583	98.8	91,726	99.6						/	/	/	/	
栃木	26,709	103.4	190,307	104.2										
群馬	16,976	99.9	123,719	99.7										
埼玉	4,500	93.9	33,712	95.7										
千葉	17,317	98.5	125,218	99.8										
東京	763	95.6	5,530	96.9										
神奈川	3,017	96.3	22,549	96.6										
山梨	1,041	101.3	7,476	101.8										
静岡	6,918	99.7	49,965	99.6										
関東生乳販連	89,824	100.0	650,201	100.7	関東生乳販連	89,824	100.0	650,201	100.7					
新潟	3,847	95.5	28,704	96.5	/	/	/	/						
富山	1,022	97.5	7,407	97.3										
石川	1,714	97.3	12,518	98.0										
福井	521	99.7	3,819	100.4										
北陸酪連	7,105	96.5	52,448	97.2	北陸酪連	7,105	96.5	52,448	97.2					
長野	8,116	96.6	58,385	97.6	/	/	/	/						
岐阜	3,303	97.3	23,599	96.6										
愛知	14,591	97.1	106,160	97.9										
三重	4,087	96.7	29,457	96.8										
東海酪連	30,097	96.9	217,601	97.5	東海酪連	30,097	96.9	217,601	97.5					
滋賀	1,566	116.4	11,316	114.3	/	/	/	/						
京都	1,684	93.8	12,729	96.7										
大阪	784	97.0	5,801	98.1										
兵庫	6,752	95.5	49,350	96.3										
奈良	2,038	99.4	14,781	100.8										
和歌山	398	116.3	2,758	111.7										
近畿生乳販連	13,221	98.6	96,735	99.4					近畿生乳販連	13,221	98.6	96,735	99.4	
鳥取	4,526	98.5	32,462	100.3	/	/	/	/						
島根	5,325	104.5	37,649	104.7										
岡山	7,576	100.0	54,934	100.7										
広島	4,013	99.2	28,695	96.9										
山口	1,339	100.6	7,119	73.9										
中国生乳販連	22,780	100.6 (100.6)	160,859	99.2 (101.0)	中国生乳販連	22,780	100.6	160,859	99.2					
徳島	2,476	96.1	18,415	97.4	/	/	/	/						
香川	2,809	100.4	20,388	100.3										
愛媛	2,365	85.7	17,392	86.9										
高知	1,745	96.4	12,593	97.5										
四国生乳販連	9,395	94.5 (97.7)	68,788	95.3 (98.4)	四国生乳販連	9,395	94.5	68,788	95.3					
福岡	6,555	96.2	47,659	100.4	/	/	/	/						
佐賀	1,352	99.9	9,723	99.0										
長崎	3,460	88.4	24,917	90.7										
熊本	20,067	101.5	144,487	103.6										
大分	5,856	96.4	43,575	98.7										
宮崎	6,720	99.8	48,893	100.3										
鹿児島	7,118	99.6	53,279	101.2										
九州生乳販連	51,128	98.7 (99.6)	372,533	100.7 (101.7)					九州生乳販連	51,128	98.7	372,533	100.7	
都府県	267,989	98.9 (99.2)	1,939,233	99.5 (100.0)	都府県	267,988	98.9	1,939,225	99.5					
合計	581,052	100.7 (101.1)	4,169,686	100.6 (101.1)	合計	581,051	100.7	4,169,678	100.6					

注1) この速報は、キロ(kg)で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比

3) 飲用牛乳向

4) はっ酵乳等向

指定団体	10月		4-10月累計		指定団体	10月		4-10月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	72,858	97.4	454,839	98.7	北海道	1,671	104.4	12,227	116.8
東北生乳販連	34,128	98.2	234,015	98.8	東北生乳販連	5,855	107.5	45,189	114.0
関東生乳販連	71,978	101.0	493,944	102.1	関東生乳販連	12,828	96.4	91,373	97.3
北陸酪連	6,791	96.0	49,949	97.5	北陸酪連	225	107.3	1,744	108.4
東海酪連	25,141	93.2	179,886	96.0	東海酪連	3,767	128.2	27,229	108.0
近畿生乳販連	12,435	98.7	90,608	99.7	近畿生乳販連	784	96.7	5,818	99.2
中国生乳販連	16,748	99.3	115,520	98.6	中国生乳販連	4,889	103.9	35,633	101.7
四国生乳販連	8,835	93.2	63,493	94.8	四国生乳販連	303	137.8	2,109	128.7
九州生乳販連	38,455	96.9	271,574	99.2	九州生乳販連	7,160	105.7	50,551	109.4
都府県	214,510	98.1	1,498,990	99.4	都府県	35,811	104.1	259,646	104.2
合計	287,368	97.9	1,953,829	99.2	合計	37,482	104.1	271,873	104.7

5) 特定乳製品向け（脱脂粉乳・バター等向け）

6) 生クリーム等向け

指定団体	10月		4-10月累計		指定団体	10月		4-10月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	96,839	111.1	776,344	109.8	北海道	107,572	98.9	736,862	98.7
東北生乳販連	2,406	93.8	27,142	85.0	東北生乳販連	1,803	94.8	11,864	89.6
関東生乳販連	3,441	95.5	52,174	94.2	関東生乳販連	1,514	96.3	12,242	97.1
北陸酪連	29	150.6	356	53.1	北陸酪連	53	97.0	359	95.6
東海酪連	679	91.6	6,635	89.3	東海酪連	383	136.6	2,818	125.3
近畿生乳販連	0	-	294	50.9	近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	314	110.5	3,897	104.0	中国生乳販連	793	105.1	5,572	94.3
四国生乳販連	64	151.5	1,908	84.9	四国生乳販連	182	94.8	1,240	96.8
九州生乳販連	2,173	100.5	27,402	95.7	九州生乳販連	3,243	104.6	22,319	109.0
都府県	9,104	96.7	119,808	91.7	都府県	7,970	101.5	56,415	100.5
合計	105,943	109.7	896,152	107.0	合計	115,543	99.1	793,277	98.8

7) チーズ向け

8) 全乳哺育向け

指定団体	10月		4-10月累計		指定団体	10月		4-10月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	34,123	100.8	250,182	92.7	北海道	0	-	0	-
東北生乳販連	248	101.9	1,850	96.7	東北生乳販連	1	96.8	8	99.1
関東生乳販連	63	80.9	467	112.8	関東生乳販連	0	-	0	-
北陸酪連	7	106.9	39	99.6	北陸酪連	0	-	0	-
東海酪連	128	109.0	1,033	111.8	東海酪連	0	-	0	-
近畿生乳販連	2	152.4	15	217.1	近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	35	103.9	237	100.1	中国生乳販連	0	-	0	-
四国生乳販連	11	176.1	38	73.6	四国生乳販連	0	-	0	-
九州生乳販連	98	103.2	686	111.9	九州生乳販連	0	-	0	-
都府県	592	101.8	4,365	103.9	都府県	1	96.8	8	99.1
合計	34,716	100.8	254,547	92.9	合計	1	96.8	8	99.1

注) この速報は、キロ (kg) で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

生乳検査実績速報

＊ ＊平成27年10月分＊ ＊

全組合におけるバルク検査月間平均値は、乳脂肪率3.97%(前年同月+0.04%)、乳蛋白質率3.37%(前年同月比+0.06%)、無脂固形分率8.77%(前年同月比+0.05%)、体細胞数31.1万/ml(前年同月比±0.0万/ml)、細菌数5.4万/ml(前年同月比+0.2万/ml)であった。

地域別バルク検査月間平均値並びに地域別・組合別の乳質改善達成状況を別表に示す。

(単位:戸・%・万/ml)

地域名	検査戸数		乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
阪 神	48	48	3.95	3.81	3.34	3.29	8.71	8.66	36.8	37.6	4.7	4.9
播 州	76	76	3.95	3.85	3.39	3.33	8.80	8.74	32.0	35.9	4.4	5.1
丹 但	40	39	3.92	3.79	3.41	3.31	8.81	8.70	38.5	42.8	5.3	6.0
淡 路	142	142	4.00	3.87	3.36	3.30	8.76	8.68	26.5	27.7	6.2	4.4
県 平 均	306	305	3.97	3.84	3.37	3.31	8.77	8.70	31.1	33.2	5.4	4.8

『地域別乳質改善目標達成割合』

(単位:件・%)

地域名	検査延べ件数	乳脂肪率 3.7%以上	乳蛋白質率 3.2%以上	無脂固形分率 8.7%以上	体細胞数 25万未満	細菌数 10万未満
阪 神	144	90.3	82.6	59.0	38.9	90.3
播 州	228	83.7	91.7	71.9	49.1	89.9
丹 但	120	77.5	95.8	70.8	39.2	88.3
淡 路	419	88.1	78.7	59.9	60.6	93.4
県 平 均	911	85.9	84.9	64.2	51.5	91.3

『組合別バルク検査平均値及び目標達成割合』

(単位:件・%・万/ml)

組合名	検査延べ件数	乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
		検査成績	3.70%以上	検査成績	3.20%以上	検査成績	8.70%以上	検査成績	25万未満	検査成績	10万未満
兵庫 六甲	144	3.95	90.3	3.34	82.6	8.71	59.0	36.8	38.9	4.7	90.3
み の り	54	3.93	94.4	3.37	88.9	8.76	70.4	37.3	38.9	3.6	94.4
東 播	129	3.94	76.7	3.38	93.8	8.80	70.5	30.1	51.9	5.1	88.4
西 播	45	4.01	91.1	3.44	88.9	8.85	77.8	31.0	53.3	3.3	88.9
北 但	36	3.88	69.4	3.37	94.4	8.82	69.4	35.2	30.6	7.7	77.8
兵庫 丹但	75	3.93	78.7	3.42	96.0	8.80	69.3	41.8	40.0	3.3	96.0
た じ ま	9	4.06	100.0	3.47	100.0	8.82	88.9	24.5	66.7	12.1	66.7
淡路 日の出	78	3.98	88.5	3.29	65.4	8.68	44.9	33.0	48.7	3.4	96.2
淡 路 島	341	4.00	88.0	3.37	81.8	8.78	63.3	25.1	63.3	6.8	92.7
県 平 均	911	3.97	85.9	3.37	84.9	8.77	64.2	31.1	51.5	5.4	91.3

淡路家畜市場情報

平成27年10月9日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			F1 スモール	メス	今回	27	160,160	244,080	27,000		
前回	24	188,640			264,600	52,920			54	-28,480	-15.1%
前年	36	135,930			192,240	3,240			54	24,230	17.8%
オス	今回	30		242,568	293,760	165,240			53		
	前回	38		227,511	315,360	64,800			55	15,057	6.6%
	前年	31		182,241	224,640	50,760			53	60,327	33.1%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比	
			ホルス スモール	メス	今回							
前回	3	40,320			60,480	28,080			47	-40,320	-100.0%	
前年	2	8,100			9,720	6,480			43	-8,100	-100.0%	
オス	今回	18		59,880	86,400	21,600			53			
	前回	30		68,724	95,040	10,800			49	-8,844	-12.9%	
	前年	30		24,984	41,040	1,080			48	34,896	139.7%	
去勢	今回											
	前回											
	前年											

* 前は平成27年9月25日・前年は平成26年10月9日

平成27年10月22日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			F1 スモール	メス	今回	23	203,650	251,640	131,760		
前回	27	160,160			244,080	27,000			53	43,490	27.2%
前年	37	148,748			198,720	62,640			53	54,902	36.9%
オス	今回	25		249,350	313,200	170,640			49		
	前回	30		242,568	293,760	165,240			53	6,782	2.8%
	前年	40		177,066	234,360	32,400			52	72,284	40.8%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比	
			ホルス スモール	メス	今回	1	36,720	36,720	36,720			39
前回												
前年	3	5,040			9,720	2,160			49	31,680	628.6%	
オス	今回	15		69,192	90,720	1,080			46			
	前回	18		59,880	86,400	21,600			53	9,312	15.6%	
	前年	33		21,567	54,000	1,080			49	47,625	220.8%	
去勢	今回											
	前回											
	前年											

* 前は平成27年10月9日・前年は平成26年10月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
24年次	30,432	1,134	29,466	2,818	31,175	555	34,426	132,079	
25年次	39,224	1,064	39,408	2,591	40,251	535	47,630	134,379	
26年次	45,380	991	41,498	2,237	45,757	433	46,726	124,624	
26	1	46,603	112	42,450	224	52,585	37	43,597	11,311
	2	45,737	102	41,930	195	45,423	50	49,809	9,677
	3	49,773	77	46,911	192	46,561	32	53,347	10,165
	4	54,930	72	48,833	104	56,765	25	58,897	10,659
	5	57,352	48	55,446	175	63,981	29	57,907	9,951
	6	70,999	50	66,441	121	91,286	21	63,695	9,279
	7	65,006	63	60,167	195	65,218	31	53,529	11,416
	8	43,655	57	43,599	187	47,680	27	39,446	10,422
	9	36,863	113	26,139	209	25,615	46	34,305	11,533
	10	31,726	117	26,287	225	23,409	43	31,458	10,584
	11	37,254	87	29,091	208	35,460	48	36,298	9,894
	12	35,419	93	29,722	202	39,052	44	41,177	9,733
27	1	42,435	89	30,627	199	37,896	45	42,589	9,941
	2	45,736	89	42,098	171	47,849	23	48,291	9,125
	3	50,936	99	44,416	173	52,522	19	53,492	10,032
	4	52,510	79	53,030	196	62,554	25	62,662	10,143
	5	62,359	50	73,460	108	92,475	16	77,131	8,830
	6	77,393	103	86,335	116	115,440	18	95,198	10,111
	7	81,797	61	86,855	185	121,298	16	78,017	10,861
	8	79,956	90	89,328	149	88,034	37	67,397	10,256
	9	66,669	89	67,237	117	74,520	82	73,065	11,554
	10	70,556	88	70,116	206	69,880	27	83,549	10,357
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
24年次	106,019	3,091	101,180	4,656	139,380	3,306	105,824	153,194	
25年次	137,628	3,156	136,753	4,398	168,714	3,078	147,093	144,430	
26年次	160,668	3,350	157,194	4,692	200,255	3,030	162,876	153,389	
26	1	163,922	251	152,846	409	192,214	293	161,446	12,966
	2	154,327	269	150,823	398	193,414	324	163,446	11,955
	3	157,029	283	151,637	397	196,899	289	163,118	12,262
	4	172,148	313	170,883	200	204,662	265	172,444	12,321
	5	176,829	219	174,222	423	209,894	208	172,745	11,702
	6	185,600	155	188,604	299	225,060	202	180,975	11,049
	7	168,076	246	176,616	421	229,940	162	179,289	12,423
	8	159,367	251	165,517	393	205,206	201	160,856	12,108
	9	153,253	353	144,159	376	197,263	215	155,993	14,410
	10	157,537	272	149,657	483	191,679	260	148,817	14,265
	11	151,215	370	144,909	406	188,195	318	154,006	13,596
	12	150,872	368	135,161	487	194,327	293	150,061	14,332
27	1	148,012	331	138,651	487	190,521	306	145,544	14,171
	2	150,483	333	148,141	419	198,664	291	150,936	13,728
	3	165,403	365	152,588	429	199,459	244	162,305	14,768
	4	171,570	316	168,726	492	224,249	257	184,720	14,248
	5	194,555	259	197,189	342	254,611	257	201,660	12,589
	6	235,273	303	238,612	349	284,977	219	222,884	13,166
	7	237,950	253	233,108	485	300,673	172	224,914	13,620
	8	228,293	269	223,347	386	283,628	194	211,544	13,009
	9	203,124	321	209,127	366	274,057	214	210,252	14,814
	10	205,402	262	200,233	509	251,479	241	209,951	14,091
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

北海道産牛価格情勢

(平成27年10版)

ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

27年10月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
ホクレン十勝市場	7日	625,000円	544,000円	81,000	114.9%
ホクレン南北海道市場	9日	598,000円	504,000円	94,000	118.7%
ホクレン釧路市場	14日	578,000円	528,000円	50,000	109.5%
ホクレン根室市場	15日	589,000円	538,000円	51,000	109.5%
ホクレン豊富市場	16日	587,000円	500,000円	87,000	117.4%
ホクレン十勝市場	21日	633,000円	559,000円	74,000	113.2%
ホクレン北見市場	28日	577,000円	502,000円	75,000	114.9%
ホクレン根室市場	29日	587,000円	559,000円	28,000	105.0%
平均		601,000円	536,000円	65,000	112.1%

11月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン十勝市場	4日	625,000円	537,000円
ホクレン南北海道市場	6日	598,000円	457,000円
ホクレン釧路市場	11日	578,000円	517,000円
ホクレン根室市場	12日	589,000円	531,000円
ホクレン豊富市場	13日	587,000円	513,000円
ホクレン十勝市場	25日	633,000円	555,000円
ホクレン根室市場	26日	587,000円	538,000円
ホクレン北見市場	27日	577,000円	523,000円
平均		601,000円	531,000円

12月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン南北海道市場	4日	503,000円
ホクレン釧路市場	9日	516,000円
ホクレン根室市場	10日	550,000円
ホクレン豊富市場	11日	494,000円
ホクレン十勝市場	16日	565,000円
ホクレン十勝市場	17日	565,000円
ホクレン北見市場	18日	536,000円
	日	円
平均		538,000円

兵庫県酪連 事業部購買課

北海道乳牛産地情報

(平成27年11月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
本札幌管内	育成牛(10-12月令)	27~32	横遣い	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計97.6%、累計で98.4%、苫小牧管内月計で100.0%、累計で100.4%の実績となっております。
	初妊牛	50~58	横遣い	11月の初妊牛動向は1月分決定が中心となります。公共牧場からの下牧が終わる時期となり、比較的資源はあるものと思われまふ。しかし他地区からの購買者の参入等荷動きは早くなる予想されます。販売される服はF1服が中心となりますが、高体型・高能力の牛が、比較的いる地域でもありますので、様々な条件での購買が可能ですので注文をお待ちしております。
	経産牛	43~48	横遣い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	35~40	横遣い	根釧管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で104.2%、累計で101.8%、中標津管内月計で101.4%、累計で100.5%の実績となっております。
	初妊牛	57~63	横遣い	11月の初妊牛動向ですが1月から2月の分娩中心に動きまふ。公共牧場からの下牧を終え、例年なら出回り頭数が増える時期となりますが、地元での搾乳意欲が強く導入意欲が少なくなる可能性がありまふ。希望の条件の牛を探すのに時間を要する可能性もありまふので、導入時期に余裕を持たせてのご注文をお願いいたします。
	経産牛	45~50	横遣い	帯広管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.9%、累計で104.4%の実績となっております。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	28~34	横遣い	
	初妊牛	55~62	やや強含みや横遣い	11月の初妊牛動向ですが、1月分娩中心の荷動きとなりますが、育成牛頭数の減少、道内外の大型牧場による導入の影響で初妊牛価格は高値が続いており、2カ月半から3カ月先の選別分荷予定の需要が多くなっておりまふ。今月は例年であれば資源豊富な時期ですが、相場も強く荷動きが早くなっておりまふので、お早めの注文をお願いいたします。
	経産牛	45~50	横遣い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	35~40	横遣い	道北管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で100.6%、累計で101.0%、北見管内月計で101.2%、累計で100.6%の実績となっております。
	初妊牛	55~62	強含み	11月の初妊牛の動向は1月~2月の分娩中心となりますが、牧場からの下牧状況は例年より若干少なめでありまふ。資源的には、畜産物価格が上昇しているため乳牛更新による自家保留が多くなってきていること。依然として道内外の大型牧場の購入が続いていることにより大変厳しい状況が続いておりまふ。初妊牛の状況としてはF1服の要望が強い状況ですが、最近では雌雄選別腹の希望も多く、価格も強含みで推移しておりまふ。
	経産牛	45~50	横遣い	
道内管内	育成牛(10-12月令)	28~35	横遣い	道内の10月中旬までの生乳生産量前年比は102.8%、累計で101.6%の実績となっております。
	初妊牛	56~61	やや強含みや横遣い	11月の初妊牛動向については、1月~2月の分娩が中心となります。全道的に夏季放牧からの下牧が終了し、販売頭数についても増加する時期ではあります。しかし酪農家の自家保留や生乳生産の意欲増で需給がひっ迫し、価格については前月並の横遣いで動きそうです。今後については、年内中に通常では荷動きしない3月底についても荷動きがあり、選別の注文が多くなりそうですので、あらかじめ余裕を持った購買計画をされるよう、お願いいたします。
	経産牛	45~50	横遣い	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の底先選苗購買による予想相場です。

底先選苗購買のため、市場購買とは異なります。

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当がお伺いし、最近の状況を説明し、納得いただいた下で、納付いただきますよう
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
電話 011-241-0765

《各事務所電話番号》
釧路事務所 (0154)52-1232
帯広事務所 (0156)37-6051
道北事務所 (01654)2-2368

牛群成績平均情報 2

平成 27年 10月分

2015/11/11 64

2 / 2
兵庫 兵庫
全 134 戸中 114 戸集計

移動 15カ月 成績 検定月	授精		授精状況		授精状況 (除籍牛を含む)		授精状況		授精状況													
	授精 回数	授精 成功率	授精 回数	授精 成功率	授精 回数	授精 成功率	授精 回数	授精 成功率	授精 回数	授精 成功率												
10	971	8.5	35	2.5	37	80	14.2	51	2683	19.2	171	7	14	15	15	49	62	13	63	24	12	
11	954	8.4	33	2.5	34	41	76	14.3	56	2438	17.4	174	7	13	15	15	51	62	13	63	24	12
12	1016	8.9	32	2.6	37	45	79	16.9	58	2295	16.9	177	7	13	14	14	52	61	13	63	23	11
1	1004	8.8	34	2.5	36	40	89	17.5	56	2274	16.7	178	8	13	14	13	52	61	13	64	23	11
2	913	8.0	34	2.4	32	35	85	18.1	53	2366	17.8	174	8	14	14	14	50	61	13	64	24	11
3	1036	9.1	36	2.5	34	44	95	15.0	56	2412	18.3	172	8	14	15	13	49	61	13	64	24	11
4	862	7.6	37	2.6	38	35	84	15.5	53	2335	20.0	167	9	15	16	13	46	62	12	63	24	12
5	840	7.4	35	2.7	39	39	88	16.4	54	2689	21.5	167	8	15	16	13	47	62	12	63	25	12
6	765	6.7	33	2.6	37	40	96	14.9	58	2959	23.5	166	8	16	17	14	46	62	12	63	25	12
7	705	6.2	40	2.8	41	34	105	16.3	57	2914	23.3	165	7	15	18	14	46	62	12	63	25	12
8	672	5.9	43	2.8	44	13	92	14.3	51	3039	23.7	166	7	16	17	14	46	62	13	62	25	12
9	927	8.1	40	2.7	41	1	88	14.8	53	2826	22.8	167	7	14	17	15	47	62	13	63	24	12
10	461	4.0	38	2.8	42	0	85	14.7	59	2268	19.9	168	7	13	17	15	48	63	13	62	25	12
平均・計	10665	93.6	33	2.7	19	37	87	14.3	54	2309	20.3	171	8	13	17	14	48	62	13	62	25	12
前年成績	10665	93.6	33	2.7	19	37	87	14.3	54	2280	20.2	174	9	13	15	14	49	62	13	64	23	12

()内は、1戸平均。

月	経産牛1頭当たり年間成績		P/F 比		
	乳盤 率	乳脂率			
10	8747	3.92	3.34	8.79	0.85
11	8758	3.92	3.33	8.79	0.85
12	8764	3.92	3.33	8.79	0.85
1	8773	3.92	3.33	8.79	0.85
2	8794	3.92	3.33	8.78	0.85
3	8788	3.91	3.32	8.78	0.85
4	8801	3.91	3.32	8.78	0.85
5	8825	3.90	3.32	8.77	0.85
6	8852	3.90	3.32	8.77	0.85
7	8896	3.89	3.32	8.77	0.85
8	8923	3.89	3.31	8.77	0.85
9	8854	3.87	3.32	8.78	0.86

授精報告 頭分	未経産 産産		分 娩 後 日 数		頭
	頭数	産産	60~ 79日	80~ 99日	
今月の 未授精牛	1383	52	12	7	5
初 前 月	316	29	27	17	9
回 3 ヶ 月	762	25	22	19	11
授 精 1 年	3024	23	24	20	12
繁殖に供さない牛 15 頭					

項目別 種雄牛成績	種雄牛区分別種雄牛頭数		種雄牛 性 質		乳代効果
	頭数	成績 あり	乳 量	乳脂率	
授精・妊娠	3705	40	+1199	-0.08	+112371
24か月未満(産後)	821	90	+1111	-0.13	+94476
未 経 産	457	74	+882	-0.05	+85685
1 産	1645	76	+855	-0.03	+82531
2 産以上	3203	67	+777	-0.12	+69006

初産分娩 月 齢	21以下		22~		23~		24~		25~		26~		27~		28~		29~		30以上		合計頭数
	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	
分 娩 間 隔	974	16%	24	32%	18	15%	15	13%	11	10%	12	11%	13	13%	10	10%	7	6%	25	26%	1321
2 産	692	11%	21	30%	15	13%	13	11%	11	10%	11	11%	11	11%	11	11%	11	11%	440	43%	437
3 産	813	13%	22	30%	15	13%	14	12%	12	11%	12	11%	12	12%	12	12%	12	12%	454	45%	453
4 産以上	2479	36%	23	31%	16	14%	14	12%	11	10%	11	11%	11	11%	11	11%	11	11%	445	45%	445
平均又は 合計	2479	36%	23	31%	16	14%	14	12%	11	10%	11	11%	11	11%	11	11%	11	11%	446	44%	448

注) 乳代効果と無胎胎分率には除外種雄牛は含まれておりません

月別分岐 予定頭数	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		合計頭数	
	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%
(初産)	11	11%	16	16%	17	17%	15	15%	13	13%	13	13%	11	11%	4	4%	2198	11%
	13	13%	20	20%	19	19%	19	19%	10	10%	7	7%	9	9%	4	4%	198	10%

年間 追加 除籍牛	追 加		除 籍		除 籍		除 籍		除 籍		除 籍		除 籍		除 籍		除 籍		除 籍	
	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%
未経産	731	13.8	17.1	2.4	4.9	4.9	12.2	4.9	14.6	51.2	41	1								
1 産	912	17.2	9.0	4.9	16.1	1.8	2.7	9.0	18.8	16.1	22.4	17.5	223	4						
2 産	45	0.8	15.7	11.7	16.6	5.1	1.1	6.3	17.1	12.9	18.0	19.4	350	7						
3 産以上	72	1.4	17.0	12.8	11.3	4.0	1.9	7.3	18.8	17.1	15.0	20.4	849	16						
除籍日までの年齢(歳・月)	5-9 (5-10)		5-6		5-2		5-6		5-5		5-4		5-4		6-1					
除籍日までの分岐後日数	248 (227)		411		206		285		283		247		309		316					

注) 除籍牛年初には乳用頭数は含まれておりません

NTP上位40位以内【新規牛は除く】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本会で扱いがあるもの)

総合指数順 (N T P)

《2015-8》

供給種番	NTP順位	略号	種雄牛名号	長命産乳果 (F)	乳代効果 (F)	総合指数 (NTP)	生産能力のEBV(推定育種値)										体型のEBV				血統情報		管理情報	
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体高と骨格	肢蹄	乳用強健性	乳器	決定得点	胎入り	父牛	母系祖先	産子数	在牝期間乳持続性	
A	2	JP3H54722	SP フランチャイ ハウスター ET	92,926	134,538	2,896	78	0.27	128	0.16	54	0.12	0.18	0.32	0.16	0.52	0.47	2.38	7ハウスター	×	オマール	8	101	102
A	4	JP3H55177	エンデバ・コスモ キヤカシュー ET	66,112	187,284	2,756	74	-0.07	174	-0.1	53	-0.14	0.81	-0.26	1.46	0.59	0.53	2.08	7アキオト	×	シヅナル	6	99	101
A	5	JP3H54828	グリーンハイヴルカリア ET	91,563	105,967	2,719	59	0.10	78	-0.29	40	0.00	0.90	0.67	1.42	1.84	1.69	1.83	8ハクダ	×	ゴートウシ	8	102	100
A	6	JP0H55536	NLBC ベリケレス オーツ ET	59,402	91,361	2,641	45	0.12	95	0.2	43	0.15	1.91	0.57	1.86	1.60	2.01	2.26	8アツアツ	×	シャキー	7	100	101
A	7	JP3H55046	オムラスイーイー ヤルジャン ET	37,260	62,995	2,626	343	0.50	61	0.32	41	0.31	2.10	1.00	2.47	1.49	1.94	2.39	8ハース	×	ターナムナム	9	99	100
A	8	JP3H55206	エルムレーン エスター アレックス	50,886	169,501	2,600	44	-0.30	172	-0.04	57	-0.07	0.78	0.32	1.35	0.67	0.83	2.35	8ハース	×	ジエトスリム	6	99	102
A	11	JP4H54859	モントラップ ユールデン ボルトン ET	85,093	55,077	2,575	204	0.69	43	0.27	35	0.30	-0.30	0.25	-0.01	0.97	0.45	2.26	8ホルト	×	オマール	8	102	101
D	13	JP3H54903	ストーンフインリー ハース ET	43,611	157,974	2,510	32	-0.39	160	-0.11	53	-0.09	1.88	0.99	1.58	1.50	1.84	2.54	8ハース	×	7イリ	9	99	101
A	16	JP3H55056	モニンガビュ SHTL リラリス ET	101,751	149,088	2,429	34	-0.34	148	-0.13	46	-0.13	0.74	0.61	0.82	1.57	1.31	1.68	8ソラリス	×	シヅナル	6	102	101
A	21	JP5H53562	オーケリアー ム ハート ランカスター ET	36,639	96,284	2,383	46	0.10	100	0.19	44	0.14	-0.91	0.94	0.52	1.35	0.84	2.40	8オクニツ	×	7アツ	10	99	100
A	25	JP5H54423	WHG ハーリツタ ジャムナ ET	54,340	86,204	2,317	61	0.32	77	0.12	35	0.11	1.28	0.66	1.62	1.18	1.38	1.96	8ハクダ	×	オクニツ	8	100	101
A	27	JP3H55084	オムラスイーイー ET	41,266	139,901	2,250	45	-0.17	137	-0.05	50	-0.03	1.44	0.04	0.77	0.30	0.86	2.04	8アツ	×	アツ	6	99	100
A	32	JP3H54723	ハンカトン UF ストロイター ET	69,199	134,039	2,213	53	-0.05	127	-0.04	35	-0.13	0.15	0.58	0.91	1.65	1.32	2.42	8アツ	×	アツ	7	100	100
A	35	JP5H53812	WHG オージヤニック ショリアン ET	110,855	93,229	2,205	848	0.22	90	0.16	31	0.03	0.27	0.41	0.16	0.83	0.78	1.81	8ハース	×	アツ	7	102	101
A	39	JP3H53999	ジレットチーケーブ スパークン ET	52,710	112,775	2,112	31	-0.27	89	-0.44	34	-0.15	2.52	0.97	2.76	2.36	2.65	2.15	8ホルト	×	アツ	9	101	101

入手難品

A: 配布希望本数に於いて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の盛いもの) C: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの
牛白血球粘着性欠如症(BL)及び牛複合奇形形成不全症(OV)は掲載牛全頭検査済みで、掲載牛全頭検査済みで、原因牛については名号の後に*BYOと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難品がC~Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに県下各凍結精液取扱団体まで注文願います】

《8月新規牛でNTP40位以内》

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

◎圏内における精液供給可能な検定済種雄牛(本会で扱いがあるもの)

総合指数順 (N T P)

《2015-8》

供給 種別	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (NTP)	生産能力のEBV(推定産種)						体型のEBV				血統情報		管理形質					
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体積と 骨格	股節	乳用強 健性	注定 得点	体細胞 スコア	父牛	母系祖父	産子 種数	在群期間 乳特長性		
?	1	JP5H55552	サンアート スーパー エージェン ET	120,716	142,225	2,906	1,601	57	-0.05	133	-0.06	45	-0.06	0.46	1.28	0.83	1.52	1.44	1.75	スパー	スーパー	6	102	100
?	3	JP3H55731	ケネカント フラット エッジ ET	63,551	151,618	2,764	1,699	56	-0.09	148	-0.01	61	0.05	0.44	0.04	0.03	0.36	0.21	2.68	フラット	フラット	6	100	100
?	12	JP3H55626	ジエネサイト オーマン ルピナス ET	103,912	106,219	2,529	1,175	37	-0.08	107	0.04	41	0.03	0.63	1.17	0.87	1.45	1.58	1.94	マナーン	マナーン	5	102	100
?	14	JP5H55477	J リード マカイ ヒーロー フォゴ	73,444	126,199	2,502	1,501	46	-0.11	114	-0.16	46	-0.02	1.12	0.65	1.52	0.98	1.39	2.28	マセフィ	マセフィ	8	101	99
?	22	55867	NLBC マンアット フォルサー	76,563	75,450	2,382	726	35	0.07	78	0.15	37	0.13	0.00	1.21	0.86	2.28	1.87	1.99	マナーン	マナーン	5	101	101
?	23	JP3H55409	レツスター アレキアングラ クリベット ET	63,378	128,810	2,362	1,352	69	0.16	113	-0.05	35	-0.08	0.73	0.46	0.48	0.71	0.77	2.11	7ルキヤン	7ルキヤン	7	101	102
?	24	JP3H55421	スミデール ローレン ジーブ	73,069	112,340	2,323	1,178	71	0.24	88	-0.14	29	-0.09	1.26	0.58	1.09	1.71	1.53	2.58	ジーン	ジーン	8	101	100
?	26	JP5H55672	ティンカエーブ SC ルーレット ET	93,483	130,802	2,295	1,590	27	-0.32	136	-0.03	40	-0.11	0.45	0.76	0.71	1.73	1.46	1.91	スパー	スパー	6	101	101
?	28	JP3H55560	クロケットエーカース FV エルベージュン ET	82,127	54,054	2,239	420	30	0.14	62	0.26	36	0.23	1.02	0.69	0.97	1.77	1.67	2.04	マナーン	マナーン	5	101	100
?	40	JP4H55624	サニーエイ ネリー モード マカロン	66,003	132,554	2,072	1,619	41	-0.20	123	-0.17	38	-0.13	0.26	0.68	0.63	1.13	1.03	2.45	モクラク	モクラク	6	101	100
							105,479	2,216	1,169	43	0.07	100	0.08	37	0.09	0.67	0.77	0.82	1.33	1.27	2.07			

入手 難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の少ないもの) C: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの
牛白血球粘着性欠如症(BL)及び牛複合骨椎形成不全症(CV)は掲載牛全頭陰性。プラキスバイナ(BV)については、掲載牛全頭検査済みで、保種牛については名号の後に*BYCと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易度がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに県下各凍結精液取扱団体まで注文願います】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

サイヤーサマリーズ 《2015-8》

T P I 順

◎兵庫県において精液供給可能な輸入検定済種雄牛(アメリカ)

供給 難易度	TPI 順位	略号	種雄牛名号	TPI	乳量 (kg)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	信頼度	体細胞	生産 寿命	体型のEBV			血統情報		分娩 難易度
													体形	乳器	肢蹄	信頼度	信頼度	
B	1	7H11351	シガルハイ スーパーサイヤー ET	TV TL	2,715	100	0.14	65	0.00	99	2.94	7.2	1.62	0.65	0.75	97	ロバスト × フラネット	7.6
A	2	7H11314	マウントワイルド SSI DCY モーガル ET	TR TV	2,570	84	0.28	39	0.00	99	3.01	4.4	2.58	2.57	2.65	99	トロン × マーシ	6.3
B	6	7H11477	デスー BKM マッカチン 1174 ET	TV TL	2,468	44	0.10	29	0.04	99	2.84	3.3	3.21	2.99	2.58	97	フツカム × ショトル	7.8
A	12	200H3753	マーブリー フェイスフック ET	TR TV	2,402	79	0.28	44	0.06	98	2.92	1.2	1.35	0.78	0.14	98	マンローマン × エアレイド	6.2
A	21	7H10721	デスー 521 フツカム ET	TR TV	2,353	29	-0.14	47	0.06	99	2.82	4.3	1.63	1.15	1.12	99	フラネット × フェス	6.6
B	41	1H10422	ワゴ N JD デンブジー	TV TL	2,278	55	0.16	24	-0.04	96	2.87	4.4	0.41	0.22	0.84	88	フレデー × フロト	6.7
A	43	1H09527	コープ ホースサイド マッセイ ET	TV TL	2,270	687	0.14	36	0.12	99	2.65	2.2	0.87	1.35	0.83	98	マスコル × フレイト	7.3
A	49	1H08784	ハッシュャー クラフ ファニー フレデー	TV TL	2,264	29	0.00	24	0.00	99	2.92	5.3	0.39	0.51	1.57	0.12	オーマン × ダイハート	5.8
A	50	7H10849	レディース マナー PL シヤムロック ET	TR TV	2,259	37	0.00	15	-0.12	99	2.82	6.9	1.05	1.16	0.09	99	フラネット × ショトル	7.0
B	85	29H14062	デスー シルビエー ET	BY TV	2,205	45	-0.18	44	-0.10	97	2.8	1.6	2.06	1.52	1.66	94	ホルトン × ショトル	8.9
A	94	7H10606	デスー オブザパー ET	TR TV	2,198	18	-0.14	26	-0.02	99	2.85	5.9	1.57	2.19	-0.63	99	フラネット × オーマン	5.7

入手難易度

A:配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B:割当配布(時期により入荷の厳しいもの) C:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E:本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易度がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに県下各凍結精液採取団体まで注文願います】

【管理形質の見方について】

※ 分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未經産に交配した場合予想される難易度を示します。
難易度8%が平均値で、この数値が高くなるほど、難産の可能性が高くなります。
特に未系産や原種のない小型の牝牛、ETとしての利用の交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するように心がけてください。
潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な検定済種雄牛(本会で扱いがあるもの)

L P I 順

バランスブリーディングガイド
《2015-8》

供給 種雄牛 LPI 順位	略号	種雄牛名号	GLPI	乳量		乳脂肪		乳蛋白		体細胞			体型のEBV			血統情報		管理形質 分娩能力	
				(kg)	F (%)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体細胞	信頼度	体型	尻	乳用強 標性	乳房	肢蹄	父牛		母系祖父
A 8	29H14062	テースー ジレスピー ET BYC	2,918	2,574	61	-0.29	69	-0.13	2.76	96 %	11	8	4	8	11	ホルン	×	ジョトル	98
A 10	200H0528	シルダール ジエツト エアー ET B/R	2,898	1,312	66	0.17	29	-0.12	2.55	94 %	10	5	4	8	11	ハクスター	×	BW マンヤル	110
A 38	7H10506	メイプル ダウンズ I GW アットウツト	2,794	443	57	0.38	23	0.08	2.92	99 %	15	-5	11	16	17	ゴードウイン	×	ダーハム	97
A 52	200H5592	ケツクホルム ファイバー	2,742	345	40	0.26	12	0.01	2.60	99 %	12	9	5	9	14	ゴードウイン	×	ブリッツ	100
A 90	200H5929	ジェニベック ブラウラー	2,657	718	47	0.18	45	0.17	2.87	99 %	8	5	0	7	9	ハクスター	×	ジョトル	101
A 94	200H0560	モニュメント インプレツジョン ET	2,647	1,248	42	-0.03	31	-0.07	2.53	94 %	10	9	10	9	4	リクテス	×	ホッター	99
A 164	200H2644	ミスター スプリングス スモーキン	2,567	1,459	88	0.3	55	0.06	3.18	96 %	10	10	15	5	10	ラハンガード	×	エビーアイ	104

入手難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の厳しいもの) C: 制限配布(少量しか入荷できないもの) D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易度がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに県下各凍結精液取扱団体まで注文願います】

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。
 難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の相関関係が確認されています。
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が運轉性を持つことで、生乳生産性向上を促す非常に重要な要素となり

雌判別精液を利用するに当って注意事項

雌判別精液は、受胎後100%の子牛を保障するものではありません。実践データ—上約90%の♀が期待できます。(米国において、約1～2割りは♂が生まれるという報告があります。)

雌判別精液は、通常の凍結精液と比較して、未経産牛での受胎率でも約15～20%低下が認められております。授精際には授精対象牛の状態をよく見極めた上でご使用ください。

輸入雌雄判別精液はすべて0.25CCの凍結ストローを使用していますので、0.25CC用人工授精用器具をご使用ください。

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

総合指数順 (N T P)

《2015-8》

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本会で扱っているもの)H27.8現在

供給 種別	略号	種雄牛名号	長命産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (NTP)	生産能力のEBV(推定育種値)				体型のEBV				体細胞 スコア	血統情報	管理形質		備考		
						M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体貌と 骨格			肢蹄	乳用強 確性		乳器	決定 格点
?	JP3H55177X	エンデハム コスモ キヤクシエン ET	66,112	187,284	2,756	2,124	74	-0.07	174	-0.1	53	-0.14	0.81	-0.26	1.46	0.59	0.53	6	99	101
?	JP3H54828X	グリーンハイヴ レガリア ET	91,563	105,967	2,719	1,241	59	0.10	78	-0.29	40	0.00	0.90	0.67	1.42	1.84	1.69	8	102	100
?	JP3H55206X	エルムレン ミスター アレックス	50,886	169,501	2,600	2,013	44	-0.30	172	-0.04	57	-0.07	0.78	0.32	1.35	0.67	0.83	6	99	102
?	JP3H55056X	モーニングビュ SHTL ソクテス ET	101,751	149,068	2,429	1,851	34	-0.34	148	-0.13	46	-0.13	0.74	0.61	0.82	1.57	1.31	6	102	101
?	JP3H55080X	エンデハム シュテイクオス	71,751	112,300	2,412	1,292	32	-0.17	115	0.02	42	0.00	0.46	0.67	0.88	1.91	1.55	7	101	101
?	JP5H55214SX	オムラ スイデーイー スマーク J ET	82,247	128,950	2,390	1,437	47	-0.08	127	0.01	45	-0.01	0.21	0.30	0.82	1.27	1.11	6	101	100
?	JP5H53562SX	オウアーアーム ハート ラカスター ET	36,639	96,284	2,383	920	46	0.10	100	0.19	44	0.14	-0.91	0.94	0.52	1.35	0.84	10	99	100
?	JP5H54423SX	WHG ハーレツタ ジャムナ ET	54,340	86,204	2,317	747	61	0.32	77	0.12	35	0.11	1.28	0.66	1.62	1.18	1.38	8	100	101
?	JP5H55084SX	オムラ スイート イデー ET	41,266	139,801	2,250	1,628	45	-0.17	137	-0.05	50	-0.03	1.44	0.04	0.77	0.90	0.86	6	99	100
?	JP5H55240SX	ノースランド マセツタイ シュエハ-	44,964	135,305	2,209	1,530	48	-0.10	132	-0.02	44	-0.05	1.43	0.05	1.47	0.95	1.20	8	100	100
?	JP3H53999X	シレット ナイウエーブ スパークンダ ET	52,710	112,775	2,112	1,563	31	-0.27	89	-0.44	34	-0.15	2.52	0.97	2.76	2.36	2.65	9	101	101

入手難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の厳しいもの)

C: 制限配布(少量入荷が続いているもの)

D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの)

※供給状況については日々変動しますのでご注文前に確認をお願いします。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。
 ～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県畜産 事業部 購買課

サイヤーサマーズ
 (2015-8)

◎兵庫県において精液供給可能な(27年8月現在)輸入検定済種雄牛(7カカ) T P I

略号	種雄牛名号	TPI	乳量		PRO (%)		信紙度(体脂肪)	生産寿命	体型のEBV			血統情報		分枝群別優	備考		
			F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	乳器	四肢	腰箱度	父			母	
507H11351	シヤガル ベイ スーパーサイヤー ET	2,715	100	0.14	65	0.00	99	2.94	7.2	1.62	0.65	0.75	97	交 x 母系重交	7.6		
507H11525	ズスター OOD BIAストロ ET	2,537	74	0.22	46	0.08	92	2.93	6.9	1.57	1.37	0.7	87	母系 x 父系	6.1		
507H10849	レディ-スナ- PL シヤムロウ ET	2,259	979	37	0.00	15	-0.12	99	2.82	6.9	1.05	1.16	99	父系 x 母系	7.0		
507H10848	レディ-ス マナー RD グラフィ-ティ ET	2,245	146	50	0.38	17	0.10	98	2.78	3.9	1.47	1.77	96	母系 x 父系	7.1		
507H10606	デス- オアサ-バ- ET	2,198	928	18	-0.14	26	-0.02	99	2.85	5.9	1.57	2.19	-0.6	99	父系 x 母系	5.7	
507H10723	デス- 527 スプ-ル ET	2,142	1,237	15	-0.24	22	-0.12	98	2.78	4.7	1.81	2.12	1.42	95	父系 x 母系	6.3	
507H9925	コインア-ム ショル ヤス ET	2,117	1,188	47	0.04	34	-0.02	95	3.21	1.9	0.7	1.17	0.15	92	母系 x 父系	7.0	
614H6441	ハートスワール AVTレインガス	2,058	461	57	0.32	21	0.04	93	3.04	0.5	1.36	0.75	0.91	92	母系 x 父系	5.7	
507H8361	キングス ランツ T トモガ ET	2,031	827	35	0.04	20	-0.04	99	2.78	3.9	0.65	0.29	-0.5	96	父系 x 母系	6.2	
614H6809	キヤンガ プリス AT エリカ ET	2,022	818	24	-0.06	5	-0.14	95	2.82	0.2	3.63	1.69	3.84	92	父系 x 母系	8.6	
507H9222	リカオンセル ショル レザ- ET	1,994	477	44	0.20	10	-0.04	99	3.24	0.1	1.66	1.29	0.56	99	母系 x 父系	5.5	
507H10606	メアブル タウス IGW アトワッド ET	1,972	-26	28	0.24	3	0.04	99	3.04	0.7	3.78	2.65	3.00	99	父系 x 母系	8.6	
507H10563	MD ハルービル カ-ツ RED ET	1,932	852	2	-0.24	13	-0.10	97	2.97	1.7	1.57	1.39	1.27	94	父系 x 母系	9.6	
507H11118	ミスター アトワッド アロカ ET	1,921	-205	15	0.18	8	0.12	95	3.17	-3.1	3.30	3.03	1.93	94	父系 x 母系	11.9	
507H10999	レーガンズ GV S プラトニック ET	1,917	802	-23	-0.42	15	-0.08	99	3.1	1.7	2.30	2.51	2.58	88	父系 x 母系	8.3	
507H10920	ミスター キンガ-イ- コ-ルトツツ ET	1,858	-295	1	0.10	-21	-0.10	99	2.62	0.3	2.38	2.44	2.19	99	父系 x 母系	5.2	
511H11100	ワラ アルバ-ロード ET	2,449	383	34	0.16	22	0.09	95	2.8	3.8	0.42	0.17	1.54	89	父系 x 母系	5.3	
511H10675	レイクエイク アルバ-ロード ET	2,093	423	0	-0.13	15	0.02	99	2.79	0.8	2.10	1.70	2.26	97	父系 x 母系	6.6	
511H11030	モニグビエー アルバ-ロード ET	2,267	557	26	0.04	15	-0.02	91	2.77	4.1	0.59	0.23	1.20	90	父系 x 母系	7.3	
511H10661	サリ アルバ-ロード ET	2,244	523	11	-0.07	14	-0.02	99	3.02	4.8	1.80	2.16	0.59	98	父系 x 母系	5.6	
511H10360	ワ-ニ- TBR アルバ-ロード ET	2,042	201	5	-0.02	6	0.00	99	2.85	0.6	2.22	2.16	1.89	97	父系 x 母系	8.3	
511H1080	ハチル アルバ-ロード ET	2,205	469	8	-0.08	18	0.03	97	3.08	2.7	1.56	1.57	1.52	92	父系 x 母系	6.7	
511H10977	ロキ- マンツ アルバ-ロード ET	2,154	141	19	0.12	8	0.03	96	2.82	6.9	0.53	0.71	0.51	92	父系 x 母系	7.1	
511H11000	フェ-スワッド アルバ-ロード ET	2,210	430	24	0.07	12	0.00	99	2.61	5.7	0.59	0.73	0.14	94	父系 x 母系	6.4	
529H14615	ラルスト カンガ ET	2,176	583	20	-0.02	19	0.01	98	2.83	2	1.67	1.33	0.73	96	父系 x 母系	10.4	
529H14258	レーガンズ P-J タバ- ET	1,999	187	10	0.02	13	0.06	95	2.98	2.2	0.72	0.71	1.50	93	父系 x 母系	6.9	
529H16017	モニグビエー ヴィ ET	2,322	493	15	-0.02	18	0.02	98	2.72	4.2	1.32	1.14	0.15	93	父系 x 母系	6.2	
529H14968	ハイソリー ス-ジ- プラン- ET	2,093	616	18	-0.04	15	-0.03	95	2.75	4.8	0.99	0.97	0.31	90	父系 x 母系	6.4	
529H14872	ウエルム ジャーケン ET	2,177	195	27	0.15	10	0.04	94	2.98	0.1	1.10	0.67	1.34	91	父系 x 母系	6.2	
529H14868	リッモンドFD ホンボリ ET	2,160	408	19	0.03	15	0.02	93	2.62	4.6	0.10	0.14	0.40	90	父系 x 母系	8.4	
529H14733	UFMダブス シェワウ ET	2,082	225	6	-0.02	15	0.07	99	2.97	3.7	0.39	0.33	0.25	97	父系 x 母系	5.5	
529H14132	A エルバ-ロード マウ 7-サー ET	1,830	91	3	-0.01	4	0.01	95	3.09	1.1	0.18	0.35	0.37	92	父系 x 母系	6.9	

※供給状況については日々更新しますので注文前に確認をお願いします。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。
～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

バランスブリーディングガイド
 《2015-8》

L P I

◎兵庫県において精液供給可能な(H27年8月現在)検定済種雄牛(本会で扱いがあるもの)

略号	種雄牛名号	LPI	乳量 (kg)	乳脂肪防		乳蛋白		信頼度	体型のEBV			血統情報		管理形質		備考	
				F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)		体細胞	胴	乳用強 傾向	乳房	肢蹄	父牛	母系祖父		分類能力
777H5592	クラックホルム ファイバー ET	2,742	345	40	0.26	12	0.01	2.60	99%	12	9	5	9	14	ゴールドウイン × フリッツ	100	
777H6183	コムスター レマスト	2,700	1,298	49	0.01	51	0.08	3.10	95%	9	2	5	11	6	アラネット × ホルトン	102	
777H5929	ジェニベック プラウラー ET	2,657	718	47	0.18	45	0.17	2.87	99%	8	5	0	7	9	ハクスター × ショトル	101	
777H6053	ハレービル マスケティアー	2,601	312	36	0.23	21	0.09	2.67	95%	11	13	8	7	8	ホネター × ゴールドウイン	96	
777H2644	ミステイー スプリングス スモーキン	2,567	1,459	88	0.3	55	0.06	3.18	96%	10	10	15	5	10	ラハンガード × エフビー74	104	
777H6050	ブルーノーズ ライジングスター ET	2,554	1,278	50	0.03	60	0.15	2.83	93%	6	6	5	3	6	ストレンジック × ショトル	104	
777H0577	デスー オーソリテイー ET	2,497	1,390	52	0.01	77	0.26	2.84	94%	2	5	1	3	-3	スリレンジック × オースン	110	
777H6198	ジェニベック ハラック ET	2,432	596	57	0.32	42	0.20	2.76	96%	5	1	0	5	3	アラネット × ゴールドウイン	108	
777H2221	ミステイー スプリングス バンジャミン RED	2,034	-581	-1	0.19	-4	0.14	3.19	97%	6	-1	-1	8	5	サルトーRC × シルトRO	105	
777H2137	ハインツリー シット ET	2,034	-209	11	0.18	0	0.06	2.99	99%	12	7	11	14	1	ミスターサム × フリッツ	96	
777H2106	スタントンス スティイー	2,001	-381	52	0.63	0	0.11	3.07	99%	6	4	6	3	5	ミスターサム × コンペンサー	107	

入手難易度

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未經産に交配した場合予想される難易度を示します。
 難易度は100を基準として、100以上は交産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の
 相関関係が確認されています。
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、予出しの軽い安産タイプの種雄牛を選抜するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未經産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生殖生産性向上をする非常に重要な要素となります。

輸 入 粗 飼 料 の 情 勢

北米コンテナ船情勢

米国当局の統計資料によりますと、2015年7月単月のアジアから北米に向けたコンテナ貨物の数量は前年度比3.2%増加、対して北米からアジアに向けた貨物の数量は前年度比1.4%減のとなっており、貨物の総量としては米国向けとアジア向けとの間に約2.5倍の開きが出ています。今後、北米からの輸出は果実関係を主に増えてますが、北米側の輸入も年末商戦に向け増加するため、輸出入のバランスは是正されず、加えて各船社とも大型船の導入が進んでおり船腹の余剰感が出ているため、引き続き北米出しアジア向け貨物の確保は各船社にとって重要なものとなっています。よって、今後も北米出しの海上運賃は低位安定傾向にあると思われれます。

ビートパルプ

1. 米 国

日本向けの主産地ミネソタ州、ノースダコタ州では例年より若干早い8月中旬頃よりビートの収穫が始まり、順調な進捗を見せています。今後の収穫は圃場が凍結する11月中旬まで行われ、製糖及びペレット製造は来春まで継続される予定となっています。USDA（米国農務省）の報告によると、作付面積は前年並みですが夏場の天気に恵まれたため作柄は良好で、収穫量は前年を上回っているようです。

2. 韓 国

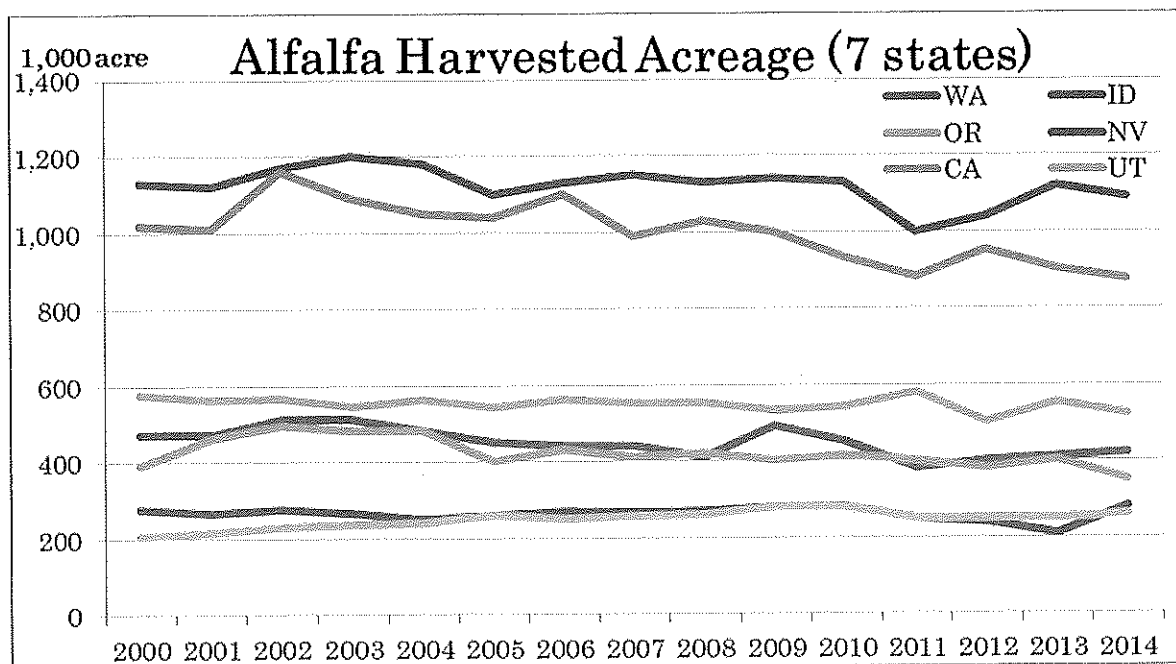
同国の輸入通関統計によりますと、9月の輸入数量は13,070トンで、9月までの累計は114,785トンとなりました。今年の輸入ペースは12,000トン/月で例年とほぼ同じ水準にありますが、韓国は少子化による乳製品需要の低下やニュージーランド等とのFTAによる乳製品輸入の増加により国内の酪農畜産業界が縮小傾向にあり、飼料需要は今後減少していくものと予測されております。

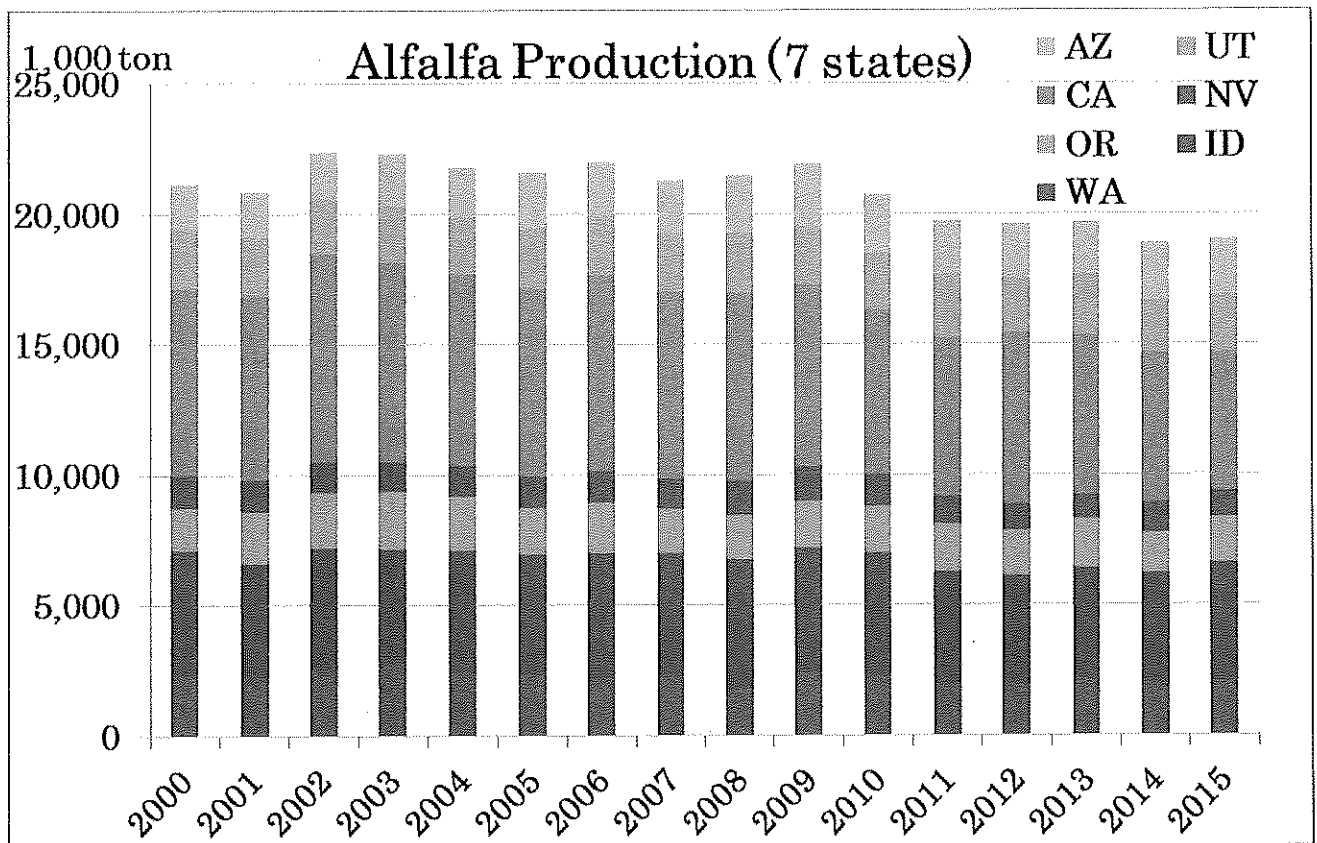
アルファルファ

10月にUSDA（米国農務省）より発表されたアルファルファの15年産生産量予想は、米国西海岸7州（WA＝ワシントン州，OR＝オレゴン州，CA＝カリフォルニア州，NV＝ネバダ州，UT＝ユタ州，ID＝アイダホ州，AZ＝アリゾナ州）で計1%の増加となりました。大きく生産量を落としたのは12%減のネバダ州、6%減のカリフォルニア州で、これらの州では干ばつによる水不足に加えて、国内からの需要が昨年に比べ弱まったことで生産意欲が減少したと考えられます。一方、単収量を見るとカリフォルニアは昨年並みとなっています。水不足はシーズンを通して懸念されていたものの、天候が安定していたため例年より刈取り回数が増えたのも一因かと思われ、作付面積の減少を収量増でカバーした形になっています。

生産量が増えたのはワシントン州、オレゴン州で、単収量が増加しているのに加え、作付面積に大きな変動がなかったことが要因と思われます。

このように、西海岸全体の生産量はほぼ昨年並みでしたが、総じて天候は降雨・高温などにより不安定で、いわゆるプレミアム品の供給量は昨年に比べ減少しています。輸出不適合な品質の発生も例年並みにあり、これらの相場を支えていた国内の肥育・乾乳向けの需要は、一部他の安価な副産物に取ってかわっており、プレミアム品と低級品との価格差が開き始めています。





一方、米国からの輸出量・輸出先に目を向けると、中国向けが輸出量の約半数近くまでシェアが増えて来ており、輸出市場における中国の存在感は確固たるものになってきています。中国向けの品質については、未だにその多くは日本向けの品質とは重複しないものですが、徐々に高成分のものへの需要も増え始めています。一時は日本向け以上の数量が向けられていたUAEは昨年の産地価格高騰以降、ヨーロッパ産中心の買付に戻りつつあります。しかしながら、世界的なアルファルファ市場は拡大を続けており、多くの輸出サプライヤーは既存の輸出国以外の市場に向けた拡売の可能性に期待しています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
日本	35,832	41,544	54,721	49,400	38,596	28,673	29,387	32,316	34,316	344,785
韓国	13,783	14,976	22,365	20,954	17,485	15,037	10,672	12,162	10,597	138,031
UAE	3,205	3,533	3,915	7,406	11,984	26,757	19,517	31,491	27,345	135,153
台湾	5,377	2,820	5,917	7,450	6,973	5,478	6,019	4,678	5,224	49,936
中国	46,893	47,124	72,645	95,556	91,325	76,907	86,710	80,176	60,711	658,047
ベトナム	1,008	319	1,855	420	2,184	0	590	1,313	1,101	8,790
サウジ	701	1,995	0	1,800	984	3,650	9,957	9,991	6,066	35,144
カナダ	1,789	1,502	1,505	1,745	1,866	1,903	5,049	6,065	4,339	25,763
インドネシア	0	241	151	528	752	702	64	311	213	2,962
マレーシア	72	95	46	99	37	47	161	43	0	600
その他	1,452	1,364	1,214	1,614	743	758	978	779	420	9,322
計	110,112	115,513	164,334	186,972	172,929	159,912	169,104	179,325	150,332	1,408,533

2015年1-9月 米国産アルファルファ国別輸出力 (単位：トン)

<ワシントン州>

ワシントン州コロンビアベースンでは、多くの圃場で5番刈まで行われ、今年の生産を終了しています。5番刈は冷涼な気候で推移したこともあり、高成分の玉が多く生産されました。降雨により刈取り適期を逃した1番刈、高温かつ乾燥した気候で推移した2～4番刈と、これまでプレミアム品の生産は非常に限定的でしたが、5番刈で高成分玉が発生したため、米国内酪農家や一部の輸出サプライヤーはこれらの買い付けを進めているようです。

<オレゴン州>

オレゴン州南部クラマスフォールズでは刈取りが終了しています。3番刈では見た目より高成分玉が生産され、国内向け中心に引き合いも増し、産地価格は堅調に推移しました。特にビックベール原料への引き合いが強く、スモールベール原料より高値が付くケースも見られました。中部クリスマスバレーは3番刈で収穫を終えましたが、状況はクラマスフォールズ同様で、特に高成分を求める一部の国内酪農家や輸出サプライヤーが積極的に買い付けに入っており、他産地に比べ価格も堅調で高止まりしている状況です。

<ネバダ州、ユタ州>

ユタ州、ネバダ州では今年の実産は終了しました。一部降雨の影響はありましたが、総じて良品が多く発生しているようです。しかしながら、引き続き他国向けが堅調であるのに加え、ネバダ州では前述の通り生産減もあり、価格は高止まりしています。

<カリフォルニア州>

南部エルセントロでは現在7番刈の生産をしています。国内の肥育向けなどの低級品(日本向け不適格品・雨あたり品含む)の相場が低迷しているため、生産農家は売り渋りを始めているようですが、今後中国向けの需要が回復するにつれ相場はやや反発する可能性を秘めています。一方、プレミアム品の需要は堅調で一定の高値でも取引は行われているため、プレミアム品と低級品の価格差が例年になく広がっています。

チモシー

米国産

主産地ワシントン州では刈取りはすべて終了しました。15年産の傾向としては、1番刈の収穫期にほとんど降雨がなく適期に刈り取られましたが、生育期に降雨が多く倒伏などによる茶葉混入があり、馬向けなどの上級品の発生は比較的少なくなり、中級品の発生が中心となりました。また収穫期に降雨がほとんどなかったことから下級品の発生も限定的な作柄となりました。2番刈は安定した天候で推移したため、低級品は発生量が少ないようですが、一方で例年より収穫期の気温が高かったため茶葉の混入も散見されます。

カナダ産

南部レスブリッジ地区では9月末に2番刈が終了しています。今年度の2番刈は例年より茶葉が多く、刈取り時期の降雨により雨あたり品も発生しており、2番刈における上級品は限られているようです。

中部クレモナ地区では9月中旬に今シーズンの収穫が終了しています。当地域ではスモールベールからビッグベールへの生産へ移行する生産者が増えており、地域のおよそ半分、11000エーカーがビッグベールになったとの情報も出ています。単収は地域によって差はあるものの早魃の影響で例年比20%減と言われています。中級品が中心の発生となっており、低級品および上級品との価格差は例年より広がっている傾向です。

国内需要は馬向けを中心に強く、その影響で上級品の価格が強含みで推移しています。

スーダングラス

主産地インペリアルバレーでの収穫は終了しています。例年になく降雨が多く、その影響により過去2年に比べ作柄が悪かったため、ほとんどのサプライヤーの取り扱い数量は14年産に比べ微減する見込みです。今年は茶葉がなくクリーンに仕上がった品質は少なく、ほとんどの圃場で大なり小なり茶葉の混入が見られる作柄となりました。その結果、例年であれば国内の肥育などに向けられるような、見た目が悪く茶葉が非常に多いものの一部が日本へ出荷されて始めており、それらの品質については

注意が必要です。全体の発生量としては14年産比減少しているものの、日本側では14年産の繰り越し在庫が港湾問題の影響もあり概ね1か月以上あったこと、また北部カリフォルニアなどの他地域からの供給力も考慮すれば、15年産で不足感が出ることは考えにくいと言えます。

クレイングラス(クレインは全酪連の登録商標です)

15年クレイングラスの作付面積は、14年産よりやや下回るものの大きな減少は見られませんでした。生産量も堅調な需要をカバーするに十分と思われます。今年は5月に降雨があるなど異常な天候パターンの影響を受け、過去2年に比べ低級品の発生も多く見られましたが、これらは韓国中心に出荷されているようです。

ストロー類(フェスキュー・ライグラス)

ストローの収穫は終了しています。今年はやや早魃傾向で収量が少ないと言われていますが、輸出向けの供給力は十分で加えて韓国からの引き合いも強くなく、またバミューダストローの価格下落の影響で、オレゴン産のストローの価格は引き続き軟化傾向にあります。

豪州産オーツヘイ

西豪州(ウェスタン・オーストラリア州)

刈り取りは既に終了しており、ベーリングもほぼ終了しました。今シーズンの収穫期は一貫して晴天に恵まれ、生産されたオーツヘイの大部分は上級品となりました。他の2州も同様の傾向で、15年産は低級品の供給力不足が懸念されています。また、産地ではオーツ麦の生産も増えており、それに伴いオーツストローの発生も増加すると予想されています。西豪州全体の生産量は28-30万トンと予測されています。

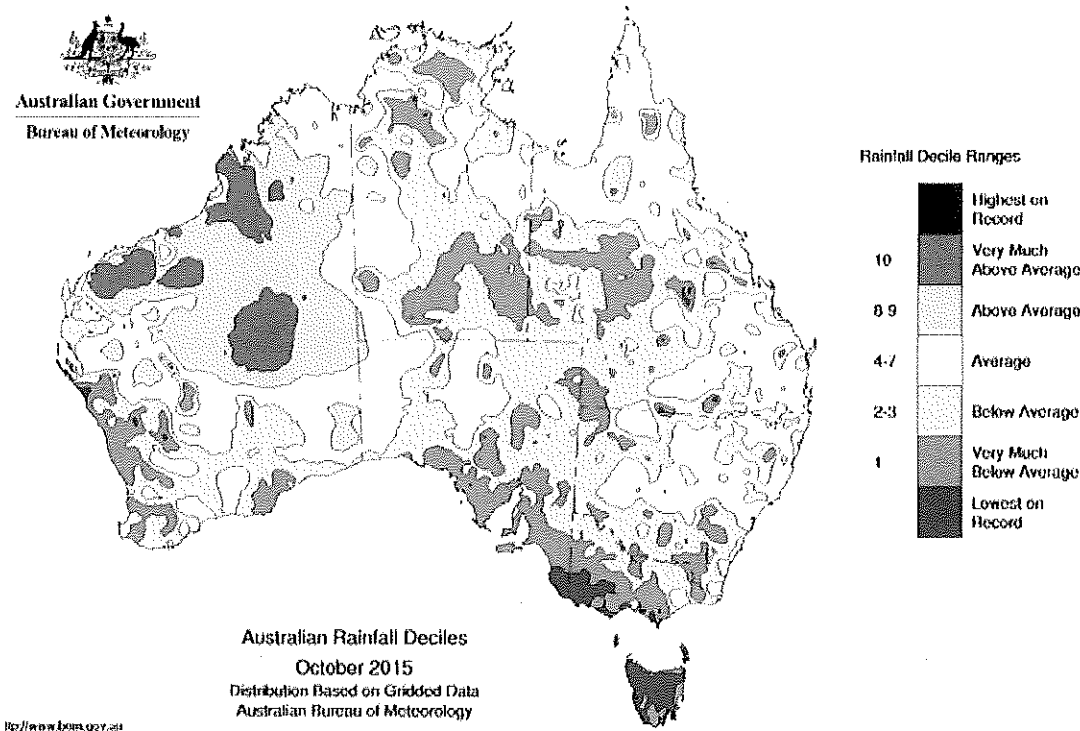
南豪州(サウス・オーストラリア州)

刈り取りは既に終了し、ベーリングもほぼ終了しました。西豪州と同様、収穫期の天気に恵まれ、収穫されたオーツヘイの大多数が上級品で雨あたりなどの低級品の発生はわずかな状況のようです。南豪州全体の生産量は27-29万トンと予想されています。産地では小麦・大麦の収穫が始まっており、ストロー類の状況が見えてくるのは早くて11月下旬からと予想されています。

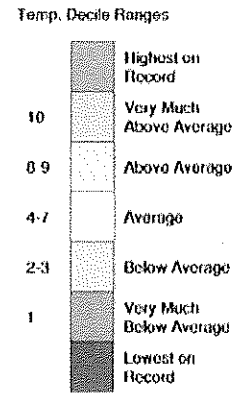
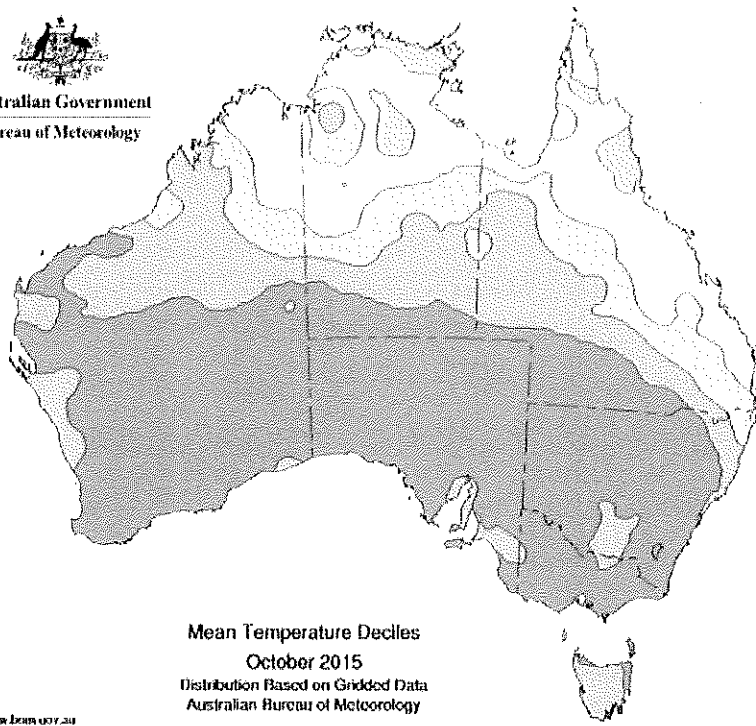
東豪州(ビクトリア州)

刈り取りは既に終了し、ベーリングは後半に向かっていくところですが、当州も他2

州と同様、上級品の発生がほとんどとなっていますが、他2州と比べ更に降雨が少なく、単収が非常に低くなっているようです、分析値は他2州よりも高い傾向にあるようです。早魃傾向にあることで放牧草が足りなくなることから、国内の酪農家と買付が競合する恐れがあります。東豪州では作付面積は昨年並みでしたが、降雨不足により生産量は13-16万トン程度と予想されています。



過去の10月の降水量と2015年10月の降水量の比較
(青くなればなるほど記録より多く、赤くなればなるほど記録より少ない)



Mean Temperature Deciles
October 2015
Distribution Based on Gridded Data
Australian Bureau of Meteorology

<http://www.bom.gov.au>

過去の10月の平均気温と2015年10月の平均以降の比較

3州全てで平均気温を上回る状況

以上

TPP 大筋合意に関する緊急要請

平成 27 年 11 月 9 日

日本酪農政治連盟

委員長 佐々木 勲

全国で酪農家戸数・飼養頭数の減少が継続し、生乳生産が 10 年間も減少するなど、依然として厳しい酪農の経営環境が続いている。

今回、TPP の大筋合意について、影響は長期間にわたり、全国の酪農家は将来の経営展望に対する大きな不安を抱えている。

本連盟は、わが国酪農を守るため、繰り返し大会やデモ行進などを行い、自民党、国会決議である「国益の確保」「守るべきものは守る」「国内農業の再生産が可能」となるよう、政府国会に強く要求してきた。

政府は、生産者の不安を取り除くため、合意内容について引き続き十分な説明を尽くすと共に、経営の安定化により生産基盤の維持・拡大をより強化すべきである。

現在、酪農経営は従来からの生乳と牛肉生産の安定供給に加えて、肉用素牛生産を担っており、牛肉生産においてもより重要な役割を増している。

よって、政府は、酪農生産者の生産意欲を失うことなく、次世代の後継者が希望を持てる、再生産可能で万全な、恒久的並びに緊急対策を措置することを強く要請する。

乳製品

基礎データ

国内生乳生産量
(2013年度)

7,447千トン

主な生産地
(生産割合)

北海道 52%
関東 18%
九州 9%

輸入量
(2013年度、生乳換算ベース)

4,057千トン
(うちTPP参加国3,235千トン)

主な輸入国
(輸入割合)

豪州 31%
NZ 24%
EU 16%

品目	価格(生乳換算)の推移(円/kg)				
	2010	2011	2012	2013	2014
脱脂粉乳	558	570	591	600	619
バター	1,004	1,063	1,150	1,178	1,208
脱脂粉乳	288	326	314	421	426
バター	423	441	280	470	464
国内生乳生産量	7,631	7,534	7,607	7,447	7,331
乳製品輸入量	3,538	4,030	4,195	4,057	4,425

(注)国内生産の内訳は、指定団体への販売実績等であり、生産量合計とは合致しない。乳製品輸入量は生乳換算ベース
出典：牛乳製品統計等、貿易統計
国内価格：牛乳製品価格
国際価格：CIF価格(貿易統計における平均単価)

交渉結果

品目/現在の関税率	合意内容
脱脂粉乳 25%、35%+マークアップ	脱脂粉乳、バターについて、枠外2次税率の関税削減・撤廃は行わず、TPP枠(民間貿易関税割当枠)を設定。
バター 35%+マークアップ	TPP枠数量は、最近の追加輸入量の範囲内で設定。
ホエイ 25%、35%+マークアップ	脱脂粉乳(たんぱく質含有量34%)と競合する可能性が高いホエイ(たんぱく質含有量25-45%)について、最も長い21年目までの関税撤廃期間を確保。
チーズ 29.8%等	20年目のセーフガード発動数量を脱脂粉乳の国内生産量の1割強の水準に設定。 日本人の嗜好に合うモッツアレラ、カマンベール、プロセスチーズ等の関税を維持。 主に原材料として使われるチエター、ゴータ等の熟成チーズやクリームチーズ等は関税撤廃するものの、長期の経過期間(16年目までの関税撤廃期間)を確保。

結果分析

- バター・脱脂粉乳等については、国家貿易の追加輸入量の範囲内で関税割当(民賃)を設定し、枠外2次税率については、現行の高水準を維持。
- ホエイについて、長期の関税撤廃期間及びセーフガードを措置。
- 熟成チーズやクリームチーズ等は長期の関税撤廃期間を確保。
- バター・脱脂粉乳等が無秩序に輸入されることはなく、牛乳も含めた乳製品全体の国内需給への悪影響は回避の見込み。
- したがって、当面、輸入の急増は見込み難い。
- 他方、ホエイやチーズの関税撤廃により、長期的には、競合する国内産の脱脂粉乳・チーズの価格下落等が生じることにより、加工原料の乳価の下落も懸念される。このため、国内の酪農について、規模拡大等による生産コストの削減や品質向上など国内産の優位性の確保等の体質強化対策に加え、経営の継続・発展のための環境整備を検討することが必要。

平成 28 年度予算概算要求における

酪農予算要求額確保と今後の酪農政策に関する要請

平成 27 年 11 月 9 日
日本酪農政治連盟
委員長 佐々木勲

全国で酪農戸数・飼養頭数の減少が継続し、生乳生産量が減少するなど、引き続き厳しい酪農情勢が続いている。酪政連は 8 月末の平成 28 年度予算概算要求に向けて、次の重点項目を柱に政府・国会に要請を展開してきた。

- (1) 畜産クラスター関連事業の中長期的な継続、予算の拡充強化
- (2) 自給飼料生産拡大に向けて、飼料生産型酪農経営支援事業の予算確保
- (3) 都府県酪農支援を狙いとする対策の創設（後継牛確保等の新たな都府県対策等）
- (4) 集送乳合理化等、酪農家の収益向上のための対策
- (5) 酪農所得を補償するための新たなセーフティネット制度の創設等、将来にわたり再生産が可能な経営安定のための抜本対策

その結果、概算要求では「畜産クラスター予算」は 350 億円が盛り込まれた。また、環境負荷軽減と自給飼料生産に取り組む酪農家を支援する「飼料生産型酪農経営支援事業」は前年を約 4 億円上回る 70 億円、生乳生産・和牛繁殖基盤の拡大のため性判別精液の活用や和牛受精卵移植などへの支援は「畜産・酪農生産力強化対策事業」として新規事業に組み替えて 20 億円を要求することになった。

現在の酪農情勢は依然として、円安等の影響で飼料価格が高止まり、さらに最近は乳牛个体価格が急騰するなど、国による政策支援を必要としており、12 月の平成 28 年度政府予算案の決定に向けて、下記の重点項目を中心に酪農関係予算の要求額の獲得が不可欠で

特集

粗飼料を上手に給与する

乳牛の分離給与では最初にどんな粗飼料を給与し、濃厚飼料給与までにどのくらい時間を空けるべきか？

▼兵庫県立農林水産技術総合センター 淡路農業技術総合センター

生田 健太郎

はじめに

牛の第一胃(ルーメン)内環境は、摂取された飼料や水、ルーメン内微生物そして反芻や胃運動などの相互作用によって形成され、採食を契機として飼料成分の分解や発酵、それに伴う有機酸やアンモニアの産生、吸収および下部消化管への通過に伴って日内変動を繰り返している。このようなルーメン内環境を把握・評価するため、古くからルーメン液の性状が測定されているが、なかでもルーメン液 pH は飼料中 7 割以上を占める炭水化物の発酵によって生じる揮発性脂肪酸(VFA)と呼ばれる有機酸の産生、消失および唾液による中和を反映して変動するので、ルーメン内環境の重要な指標とされている。

高泌乳化が進んだ最近の乳牛では、増大したエネルギー要求量を充足するため、濃厚飼料の給与割合を高めざるを得ない。しかし、濃厚飼料は粗飼料に比べルーメン内発酵が速いため、ルーメン内環境に大きな変動を引き起こし、過剰に給与するとルーメン液 pH が長時間低値で推移する亜急性ルーメンアシドーシス(SARA)と呼ばれる病的な状態となり、逆に生産性が低下する。このようなことから、乳牛の健康と生産性の両立にはルーメン内環境を安定させる飼料給与が基本となる。

乳牛(主として泌乳牛)への飼料給与は、完全混合飼料(TMR)給与と分離給与に大別されるが、中小規模の繋ぎ飼

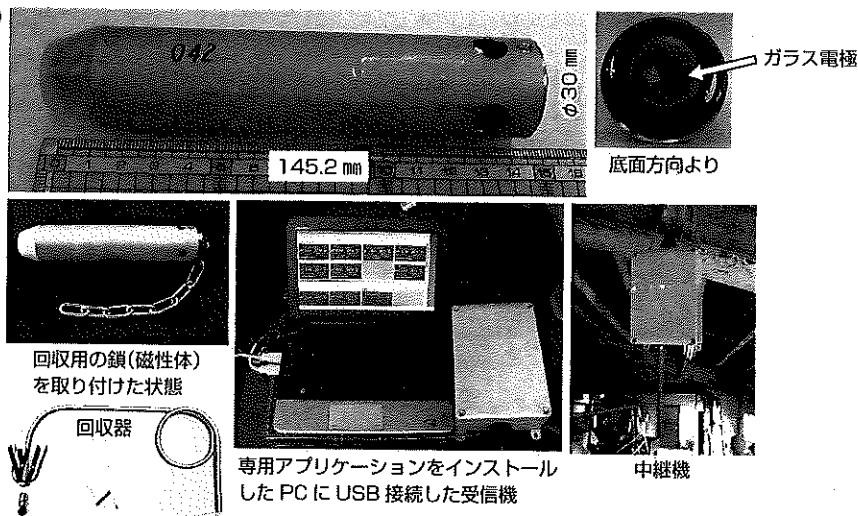
い牛舎ではほとんどが分離給与で飼養管理している。数種類の飼料を個別に順次給餌していく分離給与では、ルーメン内環境を安定させるために粗飼料から濃厚飼料への給与順序が推奨され、普及・定着している。しかし、「最初に給与する粗飼料にはどのような種類が適しているか？」あるいは「粗飼料給与後どのくらい時間を空けて濃厚飼料を給与すべきか？」といった素朴な疑問には意外にも科学的根拠のある指針は示されていない。なぜなら、冒頭に記したように、経時的に変動しているルーメン内環境への影響を評価するには、ルーメン液性状を連続的に測定する必要あるが、ルーメン液を採取して測定する方法では詳細な検討ができなかったためと考えられる。

無線伝送式ルーメン内留置型 pH メーター

岩手大学の佐藤 繁教授と山形東亜 DKK 社は、2009 年から共同研究により、前述した SARA の病態解明と予防対策確立のため、ルーメン液を採取することなくルーメン液 pH を高精度で長期間連続測定できる無線伝送式ルーメン内留置型 pH メーター(ルーメン pH センサー)の開発に取り組んでいる。

このセンサーは砲弾型をした金属製の筒のなかに pH 電極、温度計、無線装置および電池を格納したもので、磁石で回収するための鎖(磁性体)を付けて経口投与できる(写真)。pH と温度を 1 分単位で 60 分まで任意の間隔で測定で

●外観(砲弾型)



【写真】ルーメン pH センサー

き、測定データは専用アプリケーションをインストールしたパーソナルコンピュータ(PC)に接続した受信機へ送信され、PC内に保存される。なお、規模の大きな牛舎や通信環境が悪い牛舎でも、中継機を設置することにより送受信が可能となる。

本稿では、この画期的なルーメン内環境モニタリングシステムを用いて、分離給与における給餌スケジュールの違いがルーメン液 pH の変動に及ぼす影響を比較し、前述の疑問に対する回答を検討したので、以下にその概要を紹介する。

試験 1：最初に給与する粗飼料の違いがルーメン液 pH に及ぼす影響

1. 方法

ルーメンフィステルを装着したホルスタイン種泌乳牛 3 頭(乳量 20～40 kg/日)を供試し、第一胃腹囊に留置したルーメン pH センサーで 10 分間隔の連続測定を行った。

給与飼料は粗飼料 3 品目、ビートパルプ、ミネラル、ビタミンをおおむね定量とし、濃厚飼料として泌乳期用配合飼料(配合飼料)を、乳量に応じて 8～16 kg/日給与した(表-1)。

朝(8:30)と夕方(15:30)の飼料給与開始時に、マメ科のアルファルファ乾草(A区)、イネ科のクレイン乾草(K区)、およびサイレージ(S区)のいずれかを最初に給与し、30分後にビートパルプと 1 回目の配合飼料、60分後に残り

【表-1】給与飼料(原物kg/日)

飼料名	乳量設定				
	40 kg	35 kg	30 kg	25 kg	20 kg
アルファルファ乾草	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0
クレイン乾草	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8
サイレージ*	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
ビートパルプ	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
配合飼料	16.0	14.0	12.0	10.0	8.0
ミネラル・ビタミン	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
乾物給与量(kg)	25.6	22.8	21.0	19.3	17.5
TDN 含量(%)	74.7	74.7	73.9	72.9	71.8
CP 含量(%)	16.0	15.7	15.4	15.1	14.7
NDF 含量(%)	38.9	39.6	40.8	42.3	44.1

*混播：デントコーン 60%+ソルガム 40%

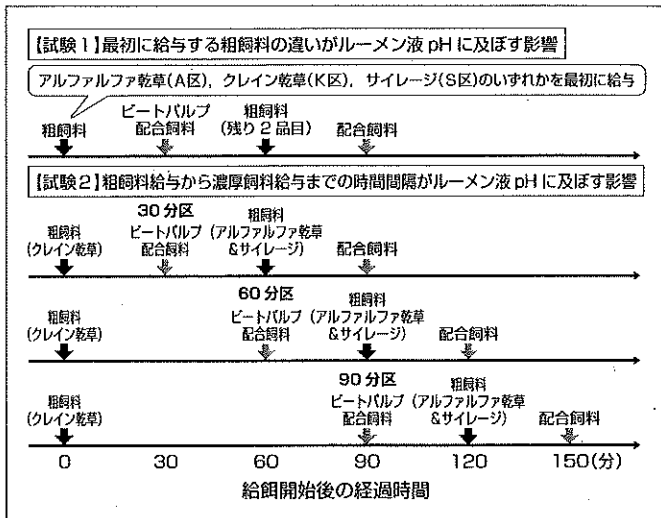
TDN：可消化養分総量，CP：粗蛋白質，NDF：中性デタージェント繊維

の粗飼料 2 品目、90 分後に 2 回目の配合飼料を給与した(図-1)。

各試験区の給餌スケジュールでそれぞれ 10 日間飼養し、最終 3 日間のルーメン液 pH を 1 日ごとに集計した。基本統計量として、日平均値、標本分散、最大値、最小値、データ範囲(最大値-最小値)を比較するとともに、試験区ごとに 1 時間単位で時間帯平均 pH を求め、その最大値との差を各時間帯の pH 変動幅として、時間帯間で多重比較した。

2. 結果および考察

ルーメン pH センサーを用いて 10 分間隔で連続測定したルーメン液 pH の基本統計量を示す(表-2)。日平均値はルーメンの底部で測定したことや分離給与で配合飼料の給



【図-1】 試験の給餌スケジュール

与量が多い個体が含まれていたことなどから、6.0程度とカテテルで経口的に採取した場合に比べ低い値であった。また、同様の理由により最小値も4.8~5.5と一時的にアシドーシスレベルまで低下したため、最大値との差、すなわちデータ範囲は1.0~2.0と大きな日内変動があったが、これらの値には試験区間の差はなかった。しかし、標本分散でデータのバラツキを比較するとK区(0.09)に比べA区(0.18)は有意に大きかったことから、A区ではルーメン液 pH が不安定であったと考えられた。

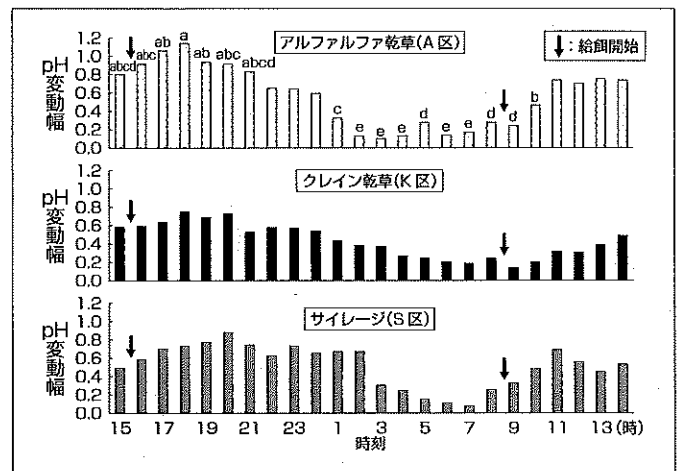
次に、日内変動を検討するため、試験区ごとに各時間帯の pH 変動幅を多重比較した(図-2)。いずれの試験区(試験2も含め)においても、ルーメン液 pH は飼料摂取後にルーメン発酵の進行に伴って低下するため、給餌後の時間帯では pH 変動幅が大きくなる。さらに、夕方の給餌後では前回給餌(朝)からの間隔が短いため、摂取飼料が完全に発酵される前に新たな飼料中炭水化物(発酵基質)が追加されることにより、pH の低下と変動幅が朝より大きくなったと考えられた。A区では pH が高く変動幅の小さい時間帯(1~9時)と pH が低く変動幅の大きい時間帯(15~21時)との間で有意差が認められたが、K区とS区では時間帯間で変動幅に有意差はなく、K区の変動幅が最も小さく推移した。

マメ科乾草はイネ科乾草に比べ繊維含量が少ないうえ、繊維成分のなかでは最も発酵しやすい溶解性繊維含量も多い¹⁾ため、ルーメン内での発酵速度が速かったと考えられた。一方、デントコーンやソルガムのサイレージはデンプン含量が多いものの未加工の穀類であるため、ルーメン内で

【表-2】 最初に給与する粗飼料の違いがルーメン液 pH に及ぼす影響

	アルファルファ乾草(A区)	クレイン乾草(K区)	サイレージ(S区)
日平均 pH	6.03 ± 0.15	6.01 ± 0.46	5.99 ± 0.42
標本分散	0.18 ^a ± 0.06	0.09 ^b ± 0.06	0.13 ± 0.06
最小値	4.82 ± 1.75	5.52 ± 0.27	5.43 ± 0.30
最大値	6.83 ± 0.24	6.60 ± 0.56	6.76 ± 0.46
データ範囲	2.02 ± 1.65	1.08 ± 0.32	1.32 ± 0.25

平均±標準偏差
ab : P<0.05



※異符号間に有意差あり

【図-2】 最初に給与する粗飼料の違いがルーメン液 pH の時間帯変動幅に及ぼす影響

急速に発酵することではなく、糞中へ排泄される割合も少ない²⁾。このような飼料特性が分離給与で最初に給与した場合の粗飼料の機能性の違いとなり、ルーメン液 pH の変動に差が表れたものと考えられた。

以上のことから、分離給与ではイネ科乾草を最初に給与した場合にルーメン液 pH の変動が最も安定するものと考えられた。

試験2：粗飼料給与から濃厚飼料給与までの時間間隔がルーメン液 pH に及ぼす影響

1. 方法

試験1に引き続き、同じ供試牛と給与飼料で、朝夕の飼料給与開始時にイネ科のクレイン乾草を給与し、ビートパルプと1回目の配合飼料を給与するまでの時間によって30分区分(=試験1のK区)、60分区分、90分区分を設けた。各

【表-3】粗飼料給与から濃厚飼料給与までの時間間隔がルーメン液 pH に及ぼす影響

	30分区	60分区	90分区
日平均 pH	6.01 ± 0.46	6.11 ± 0.31	5.96 ± 0.42
標本分散	0.09 ^A ± 0.06	0.22 ^{Ba} ± 0.07	0.14 ^b ± 0.06
最小値	5.52 ± 0.27	5.35 ± 0.31	5.35 ± 0.38
最大値	6.60 ± 0.56	6.94 ± 0.15	6.65 ± 0.27
データ範囲	1.08 ^A ± 0.32	1.59 ^B ± 0.22	1.29 ± 0.22

平均±標準偏差

AB: P<0.01, ab: P<0.05

区とも1回目の配合飼料給与の30分後にアルファルファ乾草とサイレージを給与し、さらにその30分後に2回目の配合飼料を給与した(図-1)。試験期間および得られたルーメン液 pH データの解析方法は試験1と同様とした。

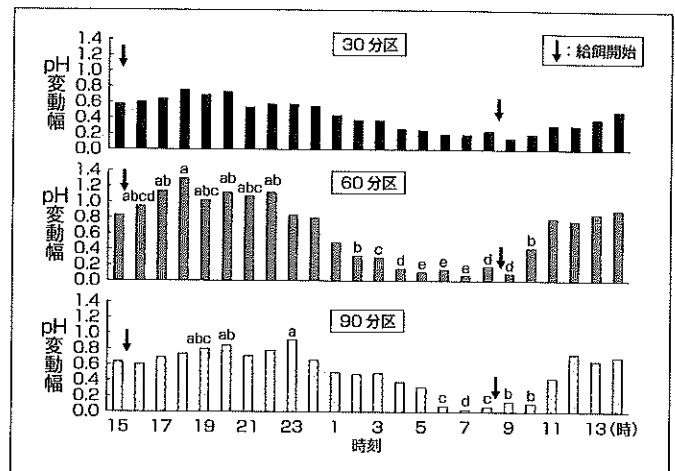
2. 結果および考察

ルーメン液 pH の基本統計量を示す(表-3)。日平均 pH、最小値および最大値には試験区間の差はなかったが、標本分散は60分区(0.22)が30分区(0.09)と90分区(0.14)に対し有意に大きく、データ範囲も60分区(1.59)が30分区(1.08)に対し有意に大きかったことから、60分区ではルーメン液 pH が不安定であったと考えられた。

次に、試験区ごとに各時間帯の pH 変動幅を多重比較した(図-3)。60分区では pH が高く変動幅の小さい時間帯(2~10時)と pH が低く変動幅の大きい時間帯(16~22時)との間で有意差が認められ、90分区でも6~10時と19, 20, 23時との間で有意差が認められた。しかし、30分区では時間帯間で変動幅に有意差はなく、変動幅も最も小さく推移した。

粗飼料と濃厚飼料ではルーメン内での発酵速度の違いから摂取後に発酵によって生じる VFA 量がピークに達するまでの時間も異なる³⁾。60分区や90分区では発酵速度の速い濃厚飼料の給与タイミングが遅くなったことで、最初に給与した発酵速度の緩やかな粗飼料からの VFA と濃厚飼料からの VFA の産生ピークが重なる時間帯が長くなったため、ルーメン液 pH の変動が大きくなったのではないかと推察された。

以上のことから、粗飼料給与から30分後に配合飼料を給与した場合にルーメン液 pH の変動が最も安定するものと考えられた。



*異符号間に有意差あり

【図-3】粗飼料給与から濃厚飼料給与までの時間間隔の違いがルーメン液 pH の時間帯変動幅に及ぼす影響

まとめ

2つの試験結果から分離給与ではイネ科乾草を最初に給与し、その30分後に濃厚飼料を給与する給餌スケジュールが、ルーメン内環境の安定にとって最良であると考えられた。

アルファルファなどマメ科乾草は嗜好性がよいため最初に給与している酪農家も少なくない。外見は粗飼料であるが成分的には濃厚飼料との中間的な位置づけにあり、ルーメン内微生物が炭水化物の発酵エネルギーを利用して蛋白質の分解産物であるアンモニア態窒素を取り込んで微生物体蛋白質を合成するといったルーメン内での蛋白代謝から考えても、後半に給与する方が望ましいと考えられる。

粗飼料と濃厚飼料の給与間隔について実際の給餌作業で60分以上もの間隔を空けることはないと思われるが、本試験結果からもあまり長時間空けすぎることはいかえってよくないと考えられた。ただし、本試験で最良とした30分という時間も、この間に最初に給与した粗飼料をほぼ摂取していることが前提条件であることを最後に記しておきたい。

参考文献

- 1) 原 悟志: ルーメン内飼料利用率を考慮した乳牛の給与基準に関する研究, 北畜会報, 50, 37~14(2008)
- 2) 名久井 忠, 阿部 亮, 岩崎 薫, 早川政市: とうもろこしサイレージ中の子実が牛糞中に排泄される割合, 日草誌, 23, 84~85(1977)
- 3) Johnson R. R.: Influence of carbohydrate solubility on non-protein nitrogen utilization in the ruminant, J. Anim. Sci. 43, 184~191(1976)

平成27年度畜産経営講座 — 畜産経営の法人化について —

○開催趣旨

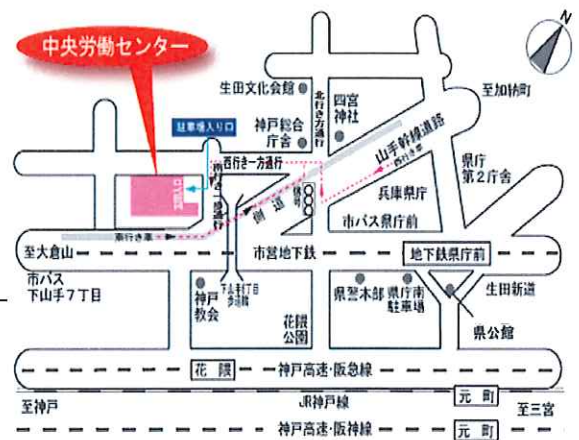
近年、畜産経営においても、経営継承や規模拡大の際などに、法人化する経営が増えてきております。今回は、日本農業法人協会から、法人化のメリットや意義、株式会社や農事組合法人など法人形態の特徴、設立の手順、全国の農業法人の状況などご講演いただきます。

併せて、中央畜産会から新しい畜舎の工法のスマート畜舎についてもご紹介いたします。畜産経営者および関係者の多数のご参加をお待ちしております。

○主 催 公益社団法人兵庫県畜産協会
兵庫県畜産技術連盟

○開催日時 平成27年12月16日(水)13時～

○開催場所 兵庫県中央労働センター1階 小ホール
神戸市中央区下山手通6丁目3番28号



○講演内容

13:00～

(情報提供)

「スマート畜舎について」

公益社団法人中央畜産会 経営支援部 (支援・調査)

(講演)

「畜産経営の法人化について — 法人化のメリット —」

公益社団法人日本農業法人協会 高須 敦俊 氏

16:00 閉 会

— 下記の事項を、e-mail、FAXにてお申込ください。 —

FAX 送信先 078-331-7744

E-mail info@hyougo.lin.gr.jp

申 込 先 (事務局) 兵庫県畜産協会経営支援部

	氏 名	所属先またはご住所	備 考
1			
2			
3			
4			
5			